

第七十九回  
貴族議會

# 米穀需給調節特別會計法中改正法律案特別委員會議事速記錄第一二號

昭和十七年一月六日(金曜日)午前十時九分開會

リ開會致シマス、本日ハ午前中農林大臣ハ  
拓務省關係ノ委員會ニ出席致シテ居ラレマ  
スノデ、此ノ委員會ニハ出席ガムツカシイ  
ヤウニ承ッテ居リマス、農林次官ハ御出席ニ  
ナル筈デアリマスル、食糧管理局長官ガ見  
エテ居リマスカラ、御質問ヲ昨日ニ續イテ  
印頂ニシタク、思ニマス

終致シマス米ハ、結局現在ノ米穀事情ニ於  
キマシテハ、サウ之ニ依テ變ハルト云フ  
コトハナイノダト云フ風ニ思ッテ居リマス、  
又チヨット致シ兼ネルトスウ思ッテ居リマス  
ガ、ドウ云フ米ト云フ御尋ネデゴザイマス  
カラ申上ゲマスレバ、内地米、ソレカラ外  
地米、外米等ヲ矢張リ必要ニ應ジマシテ混  
ゼマシテ、消費シテ戴クコトニナルト思ヒ  
マス、内地米ノ如キモノニ付キマシテハ、七

ノ配給ヲシナイデ玄米ヲズット配給スルト  
云フ風ニデモ決マリマスルト、大體玄米ノ  
配給量ガ幾ラト云フコトガ配給所デ數量ガ  
決マリマスカラ、サウ云フ御届ノアリマシ  
タ方ニハ玄米ノ配給ヲ致シマセウト思ヒマ  
ス、併シ是ハチヨツト玄米ト云フモノヲヤツ  
テ見タイト云フ風ナ御心持デ、玄米ヲ寄越  
セト云フ御話ガゴザイマシテモ、之ヲ一々  
御要求ニ應ジテ配給スルト云フコトニナリ

リマス、勿論一家ノ中ニ白米ヲドレダケ寄  
越セ、詰リ七分搗デアリマスガ、ソレヲドレ  
ダケ寄越セ、玄米ヲドレダケ寄越セト云フヤ  
ウナ、勝手ナ註文ハ是ハモウ煩鎖ニ堪ヘマ  
ヌガ、假ニ一條ノ家デ、私ノ處ヘハドウ  
ゾ玄米ヲ下サイト、斯ウ云フコトヲ申出タ  
場合ニハ、ソレハ寧ロ喜ンデ供給シテ戴ク  
ト云フヤウナ風ニ、重點ヲソチラニ置イテ  
戴キタイ、玄米デ食べ馴レナイ者ハ、是ハ

○公爵一條實孝君 私ハ甚ダ斯ウ云フコトニ暗イノデアリマスガ、此ノ食糧管理法ト云フノガ出来上リマスト、一般ニ配ラレル米ハドウ云フモノヲ御配リニナルノガ原則ニナツテ居リマスカ、實ハ斯様ナコトヲ伺フノハ豫テ私ハ玄米食ト云フモノヲ、一般ノ人ノ事情デ無理ガアラウト思ヒマスガ、之ヲ

分擔ノ米ト云フコトニナッテ居ルノテアリマス、  
又、外地米、外米ハ白米ニナッテ居リマス、  
只今法律ニ於キマシテ、七分搗以上ニ米ヲ  
白クシテハイカヌト云フ規則ニナッテ居リ  
マスノデ、サウナツテ居リマス、デ是ハ併シ  
昨今ノ米穀事情ガ何分ニモ供給ガ足リマセ  
リモノデアリマスカラ、斯ウ云フ風ナ措置  
ヲ執ツテ居リマス、只今一條委員ノ仰セニチ

マスト、其ノ準備ニ非常ニ二重ニ三重ニ準備シナケレバナラヌト云フコトニナリマスカラ、配給所モ困ル譯ナシデアリマス、只今ノ様子カラ申シマスト、玄米食ノ御希望ノ方ニハ今申シマシタヤウナ原則デ配給スルコトニナシテ居リマス、デ將來ハ無論食糧事情ガ緩和致シマスレバ、只今ノヤウナル窮屈ナ制限ヲイツ迄モ續ケテ行クト云フ積リハゴザイマセヌ

七分搗ナリ何ナリデ是ハ從來通り食ベル、  
斯ウ云フ風ニ私ハ當局ノ方デ向ケテ戴クコ  
トガ宜イノデヤナイカ、寧ロ國家ノ配給ニ  
黙ツテ肯從シロト、斯ウ云フ風ニ仰シヤルヨ  
リハ、玄米ナドヲ食ベルト云フコトハ獎勵  
スペキダ、斯ウ云フ風ニ御思ヒニナルノト  
ハ大變ナ違ヒガアルノグラウト思ヒマス、  
尙私ハ今一ツ申上ゲタイノハ、外米ト云フ  
モノヲ、或ハ白米、之ヲ七分搗ト一緒ニ入

ハ決シテ之ライケナイト仰シヤル理由ハ何  
處ニモナイデハナイカ、殊ニ玄米食ガ榮養  
的ニ言ヒマシテモ、亦節米ノ點カラ言ヒマ  
シテモ、非常ニ效果ノアルコトハ、是ハモ  
ウ論ズル迄モナイノデアリマス、之ヲ果シ  
テ管理法ニ依ツテ得ラレルヤウニナルノカ、  
ソレトモ玄米食ト云フモノハ全然出來ナク  
ナルノカ、斯ウ云フコトガ心配デアル爲ニ、  
スカルコトヲ伺フノデアリマスガ、先ヅド  
ウ云フ米ヲ御配リニナルト云フコトガ御建  
前デアリマスカラ伺ヒタインデアリマス  
○政府委員(湯河元威君)　只今消費者ニ配

地ニ於キマシテモ、只今仰セノ如キ御趣旨  
ハ我々モ理解出來ルノデゴザイマスガ、玄  
米ノ供給ヲ希望サレル方ニハ、玄米ノ配給ガ  
出來マスヤウニ致シテ居ルノデアリマス、  
唯先程申シマスヤウナ、非常ニ供給ガ窮屈  
ニアリマスノデ、何處ノ配給所ニ於キマシ  
テモ樂ニ玄米ガ手ニ入ルト云フ風ニ、玄米、  
白米兩方ニ準備ヲ致シテ、消費者ノ要求ニ  
應ズルト云フ餘裕ガゴザイマセヌノデゴザ  
イマスカラ、只今ハ所謂割當配給ニナッテ  
居リマス關係上、玄米ヲ消費爲サルト云フ  
コトガ、此ノ御家族デモ皆サンサウダト云  
フ風ニナッテ居ラッキヤル御家ナラバ、白米

タガ、實際ニ玄米ヲ要求シテ居ル人カラノ  
話ヲ聽キマスト、今仰シヤツタヤウニ、矢  
張リナカヽ困難ナ狀態ニアルノデアルサ  
ウデアリマシテ、私ハ現在玄米ヲ頂戴致シ  
テ居リマセヌガ、其ノ主義トシテハ大變宜  
イモノデアルト云フコトデ、矢張リ贊成ヲシ  
テ居ルガ、何トカ是ハ寧ロ國家ノ方デ積極  
的ニ玄米ヲ食べサセルト云フコトハ宜イコ  
トデアルノダ、ソレガ一石二鳥ノ效果ガア  
ルノダト云フコトヲ御考ヘニナル以上ハ、  
モット玄米ヲ入手スルコトニ、困難ノナイ

レルコトハドウカト思フノデアリマス、矢張リ外米ハ外米、外米ハ恐ラク私ハ搗精ハ知リマセヌガ、キット混砂搗精ヲヤッテ居ルノダラウト思ヒマス、折角内地デ以テ無砂搗精ヲヤッテ居リナガラ、外米ヲ入レ、バ折角無砂デ搗精スルト云フコトガ無茶苦茶ニナツテシマフ、是ハ私ハ餘リ國民ヲ御疑ヒニナラズニ、七分搗ガ何割、外米ガ何割ト言フテ勘定ヲ御立テニナレバ、決シテ私ハ今日ノ場合ニ國民ノ多クノ者ガ贅澤ヲ言フケシカ食ハヌ、ト云フヤウナ不心得ノ者ハ私ハサウ澤山ハナイト思フノデアリマス、

○政府委員(湯河元威君) 先程申上アリ足り  
ナカタノアリマスガ、玄米食ノ問題ハ實  
ハ厚生省ノ保健衛生ノ見地ヨリ致シマスル  
ト、マダ玄米食ヲ國民ニ御獎メスルト云フ  
所迄マダ結論ガ達シテ居ナイヤウニ承知シ  
テ居リマス、併シ玄米食ハ混砂搗キノ米ノ  
ヤウニ惡イノカ、アレハ色々警察ノ規則ヤ  
何カデ止メテ居リマス、サウ云フ必要ガア  
ルカト云フト、決シテサウデハナイラシイ、  
ソコデ玄米ヲ使用サレテ非常ニ身體ノ工合  
ガ宜イト云フ方ガ澤山居ラレルノアリマ  
シテ、又一面カラ申シマスルト、玄米ヲ消費  
スレバ、本當ニ少イ分量デ足リルト云フコ  
トヲ現實ニ見聞キモシテ居リマスガ、配給  
ノ見地カラ申シマスルト、只今ノヤウナ食  
糧ノ不足シテ居リマス時ニ、私ノ方カラ言  
フト、玄米ハ其ノ意味ニ於テ結構ナンデア  
リマス、デアリマスカラ、何ト申シマス  
カ、御希望ノアル方ハ、配給ノ技術上妨ゲ  
ナイ程度ニ於テ玄米ヲ御配リ出來ルヤウニ  
考ヘテ居リマス、之ヲ一條委員ノ仰せノ如  
アレモ實ハ色々配給上ノ不自由カラ、私ノ

方で御勧メスルト云フ所迄ハ、ナカノ行キ兼ネテ居リマス、况シテ玄米食ノ保健衛生ノ専門的見地ヨリ致シマシテ、マダ之ヲ國民ニ御勧メスルト云フ所迄ニハ行ツテ居ナイト云フヤウニ、私承知致シテ居リマスノデ、只今申上ダゲマシタヤウナ取扱ヲ致シテ居ルノデアリマス、今後厚生省ノ保健衛生ノ見地ヨリ、玄米食ハ仰セノ如クニ非常ニ良イモノダト云フコトガ決マリマスレバ、是ハ我々ノ方ノ考モ無論變ヘテ參リマス、配給ノ上カラ申シマシテモ、分量ノ少イ玄米食デ消費ガ減ツテ戴ケベ、結構デアリマス、サウ致シタイトハ思ツテ居リマスガ、ソコノ所ニマダ問題ガ一ツゴザイマスコトヲ申シ落シマシタ、ソレカラ外米ト内地米ノ混合作配給ノ問題デアリマスガ、是ハ實ハ一條委員ノ仰セモゴザイマスガ、私達ノ考ハ少シ違ツテ居リマスノデ、ドウモ一般ニ今迄窮屈ナ中ヲ御配リシテ參リマシタ經驗カラ致シマスルト、是ハドウシテモ一緒ニ致シマシテ御配リシタ方ガ却ツテ宜イト、斯ウ云フ風ニ思ツテ居ルノデアリマス、私達ガ消費者ノ市民ノ人達ヲ疑フト云フコトハ宜クナイコトダト思フノデアリマスケレドモ、今迄聞キマシタ文句ハ、混合ノ不均衡、不均等ト云フヤウナコトガ隨分言ハレテ居リマス、隣ノ家ニハ良イ米ガ來ルケレドモ、俺ノ所ニハ惡イ米ガ來ルト云フヤウナコトモ申サレルノデアリマシテ、今度強制共販ト致シマシテ、東京ナドニ於テ精米所ノ數ヲ減ラシマシテ、其處デ纏メテ精米スルト同時ニ、混合スル、サウシテ各家庭ニハ一律モノガ配ラレテ居ル、サウシテ隣同士ノ話合ニモソコニ決シテ違ツタモノハナイト云フノガ、寧ロ一般市民ノ爲ニハ宜イヤウ

云フコトニナリマス、ソレテ寶ハ寧ロ其ノ潤合  
ガ、何ト申シマスカ、均等ヲ得ルコトガ望ム  
マシイノダト思ッテヤツテ居リマスケレドモ、  
之ヲ外米ト内地米トヲ別々ニ御配リスルト  
云フコトハ、無論ナイダラウト思ヒマスガ、  
無論之ヲ御主人バカリガ良イモノヲ召上ツ  
テ、召使ヒノ方ハ惡イモノバカリ召上ルト  
アルノヂヤナイカト思ヒマス、ソレデ或家  
ニハ良イ内地米ダケヲ持ッテ行ツテ、外ノ處  
ニハ默ツテ居レバ惡イモノヲ持ッテ行クト云  
フヤウナユトガ起リマスレバドウモ消費者  
ノ間ニ不平ガ起ルノヂヤナイカト思ハレマ  
スノデ、今迄私達ノヤリマシタ經驗カラ致  
シマシテ、是ハ今度ノ管理法ニ於テハ綜合  
配給ト云フコトヲ申シマス、是ハ矢張リ萬  
遍ナク綜合配給混合ノ出來ルヤウニ、混合  
ト申シマス場合ニハ米ニ付テ外米其ノ他ノ  
モノニ付テモ市民消費者ガ不公平ダト云フ  
感ジガナイヤウニシタイト云フ氣持カラ出  
テ居リマス、外米ト内地米トノ扱ヒ方ハ矢  
張リ公平ニ混ゼテ行クノガ寧ロ適當ヂヤナ  
イカト思ツテ居リマス

トハ他ニ理由モアリマセウガ、私ハ飽迄モ  
是ハ別々ニ御配リニナルコトガ宜シイ、斯  
ウ云フコトダケノ氣持ヲ申上グマシテ、私  
ハ此ノ問題ノ質問ヲ終リマス  
○二瓶泰次郎君 私ノ只今御尋ネセントス  
ル問題ハ大體農業團體又ハ農業關係者ニ於  
キマシテ相當歸心ヲ有チ、研究ヲ致シテ居  
ル問題デアリマスルシ、又農林省ノ御意嚮  
モ大體承知致シテ居ルノデアリマス、併シ  
ナガラ此ノ機會ニ於キマシテ、一通リ當局  
ノ御意嚮ヲ承シテ置ク方ガ我々ノ立場上將  
來非常ニ都合ガ好イコトト思ヒマシテ、御  
尋ネ致スヤウナ次第デアリマス、質問ノ第  
一點ハ國策會社ノ統合ノコトデアリマス、  
事變發生以來重要國策會社ガ時局ニ便乗致  
シマシテ、續出致シタノデアリマス、是等  
國策會社ノ濫立ト云フモノヲ是正シ、農產  
物統制規則ヲ一層強化シ、急迫シタ食糧問  
題ニ對處致シマシテ十餘ヲ以テ數ヘル會社  
ヲニ又ハ三ニ整理統合シ、一つハ米穀、麥  
類、芋類等ノ重要食糧全般ヲ包含シ、他ハ  
青果物、特ニ澱粉又ハ澱加工品等ノ農產品  
利不便ヲ一掃ズベキモノデアルト信ズルノ  
デアリマス、現ニ農林省關係ニ於キマシテ  
設立サレ又ハサレントシツ、アル其ノ會社  
ノ狀態ヲ見マスト云フト食肉統制會社ト云  
フモノガアリ、是ト同ジヤウニ又鳥肉統制  
株式會社、又一方ニハ青果物統制株式會社  
ト云フモノガアリ、又是ト同ジ意味ノ馬鈴  
薯ノ統制株式會社モアル、今度出來ントス  
ル所ノ會社ニ於テ見マシテモ、醬油ノ統制

株式會社、味噌ノ統制株式會社、「アミノ酸統制株式會社ト云フヤウナモノガ新タニ設立サレルヤニ聞キ及シテ居ル、味噌、醤油ト云フモノハ一體、業者ガ一元的ニ商賣ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ附キモノニナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ殊更ニ斯クノ如ク區分ヲ致ス必要ガ何處ニアルカ、ドウモ了解ニ苦シムノデアル、斯様ナモノヲ統合致シマシテ、眞ニ其ノ簡易化ヲ圖ルト云フコトガ時局下最モ必要ヂヤナイカト考ヘルノデアリマス、又私ハ此處デ申上ガルコトハ心苦シイノデアリマスケレドモ、統制會社ノ役職員ノ報酬ノ問題ヂアリマスガ、課長級デサヘモ五千圓又ハ一萬圓ヲ得テ居ル、地方ニ行ヅテ見マスト云フト農林省關係ノ組合ノ役員ガ年十圓ヲ、一箇年十圓ノ、申上ダルモ恥シイ程度ノ報酬ヲ以テ、一家ヲ顧ミズ其ノ事業ノ爲ニ挺身ヲ致シテ居ルノデアリマス、課長ノ努力ト地方組合ノ役職員ノ努力ヲ比較シテ見マシテモ、決シテ其ノ間ニ遜色ハナイノデアリマス、餘リニモ此ノ世ノ實際ハ皮肉デアルヤウニモ考ヘルノデアリマス、斯クノ如キコトハ地方農民ノ心理ニ及ボス影響ト云フモノハ非常ニ大ナルモノガアリマス、今日統制經濟下ニ於キマシテ、金ヲ使フト言フテモサウ使ハレルモノデハアリマセヌ、生活ヲ立派ニ保證セラレルナラバ、此ノ時局下ニ於テ、其ノ職域ニ奉公ヲシ、國家ノ爲ニ奉公ノ誠級ニ惡性「インフレーション」ヲ承認シテ居トデアル、報酬ニ依ツテ動クト云フ時代ハ既ニ去タト思フ、斯クノ如キコトハ一部階級ハ能ク御考ヘラ願ヒマシテ、國內ニ不

不満ノ聲ノナイヤウニ是正スル必要ガアル  
ノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリ  
マス、今日迄ノ特殊會社設立ノ狀態ヲ見テ  
見マスルト云フト、農林省各局部ダケデ、  
會社ヲ其ノ都度作ッタ傾向ガアルノデアリ  
マス、其ノ結果濫立トナリ、民間ノ自主的協  
力ヲ阻害シ、統制モ監視的缺陷ヲ含ンデ、  
圓滿ナ發展ハ遂ゲ得ナイノデアリマス、仍  
テ省全體ノ綜合的意思ニ依リマシテ、之ヲ  
統合シ、綜合的二體的活動ニ依ッテ、益々信用  
ヲ高メ、基礎ヲ鞏固ニシテ、事務ノ簡捷ヲ圖  
シテ、多大ノ經費ヲ節約致シマシテ、其ノ運營  
デアリマス、第二ハ農民表彰制ノ制定、食  
糧増產ノ根本問題ハ何ト申シマシテモ、覺  
醒シツ、アル農業報國精神ヲ一層強度ニ發  
揮セシメルコトデ、農民特有ノ篤農精神ヲ  
搖り動シマシテ、米ヲ作ル光榮ニ感激セシ  
メル方策ヲ考ヘルベキデアルト思フノデア  
リマス、今ヤ農民ハ御承知ノ通り、總テノ不  
足ト云フモノヲ克服シ、困難ニ打克ツテ國策  
ニ協力シ而モ巨大ナル國家ノ要求ニ應ジツ  
ツアルノデアリマス、有ラユル團體又ハ各商工  
團體等ニハ表彰制ト云フモノガアリマス、農  
民ニ對シテハ團體的ノ表彰ハアリマスケレド  
モ、未ダ國家的表彰制ハナイノデアリマス、  
農村ニ於キマシテ篤農家、精農家即チ一身  
ヲ挺シテ國策ニ協力シ、衆ノ模範トナリ、  
身ヲ以テ大衆ヲ率ヒ、其ノ成績優良ナルモ  
ノニ對シテ之ヲ表彰シ、一層國恩ニ感謝シ、  
此ノ時局下最モ必要ナコトデヤナイカト斯  
様ニ考ヘルノデアリマス、第三點ハ農地制

度ノ根本的改革問題、現在此ノ問題ニ付キ  
マシテハ、農業團體ヲ始メ、各農業關係者  
ハ盛ニ研究ヲシ、非常ナル關心ヲ以テ迎ヘ  
テ居ルノデアリマス、而シテ此ノ農業、農  
地ノ根本改革ノ根柢ヲ爲スモノハ、先づ第  
一耕地ノ交換分合、此ノ耕地ノ交換分合ハ  
共同作業、畜力、機械力ノ利用、勞力ノ調整  
上最モ必要ナコトデアリマス、之ヲ例ヲ取  
テ見マスト云フト、交換分合前ハ、田一反步  
ニ付三十一人ヲ要シテ居ル、交換分合後ニ  
ハ、二十六人ニ節約出來ル、炳ニ於キマシ  
テハ、交換分合前二十七人掛ルモノガ、交  
換分合後ニ於キマシテハ、二十一人ニ節約  
スルコトガ出來ル、斯カ云フ點カラ見マシ  
テ、現下最モ必要ナル事柄デアリマスケレ  
ドモ、扱之ヲ實行ニ移スト云フコトハ相當  
困難デアリマス、何故デアルカト申シマス  
ト云フト、各々土地ノ價格ニ非常ナ差ガアル、  
小作料ニモ各、差ガアル、殊ニ農民ハ多年自  
分ガ作ツテ居リマシタ耕地ニ對スル深キ愛  
著心ヲ持ッテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ  
此ノ問題ハ地主又ハ地方ノ團體ニ依ツテ解  
決スルト云フコトハ、殆ド不可能デアリマ  
ス、或特殊地帶ニ於テハ之ヲ實行シタ處モ  
アリマスケレドモ、之ヲ全面的ニ實行スル  
ト云フコトハ不可能デアリマス、第二ハ自  
作農維持創設デアリマス、是モ亦農家經營  
ノ安固ヲ圖ル上ニ於キマシテ、小作爭議ヲ緩  
和シ、農村振興ノ安定ヲ期スル上ニ於テ最  
モ必要ナコトデアリマス、然ルニ今日ノ統  
計ハ、マダ農林省ニ於テ發表ニナツテ居リ  
マセヌカラ分リマセヌガ、事變前ノ統計ヲ  
見マスト云フト、貸付資金ノ總額ガ一億六  
千萬圓ニナツテ居リマス、一戸平均四百四十  
圓、創設面積ハ七萬五千九百十八町歩、維

持面積ハ八萬五千七百九十九町歩、合計十二  
六萬一千七百十七町歩トナツテ居リマス、戸  
數ニ於キマシテハ、創設デ十七萬四千四百  
戸、維持ニ於キマシテ十九萬三千六百八十  
戸、合計三十六萬四千百二十八戸トナツテ  
居リマス、是デハ時局ノ要求ニ應ズルコト  
ハ出來マセヌ、時局ガ要求シテ居ルノデア  
リマス、現在ノ機構ト、斯クノ如キ貧弱ナ  
ル資金ヲ以テシテハ、到底全國的ニ見マシ  
テ百年河清ヲ待ツヤウナモノデアルト考ヘ  
テ居ルノデアリマス、第三ハ家産制度ヲ確立、  
家産制度ノ確立ハ、代々農業ヲ以テ一家ノ  
基礎ト成スノデアリマスカラ、自分ノ可愛  
イ子供モ、矢張リ自分ノ所有シテ居ル田畠  
ヲ以ツテ生活ヲ維持スルト云フコトニナル  
關係上、心構ヘト云フモノガ自ラ違ツテ來ル、  
從ヒマシテ自然的ニ増産ニナリマス、ノミ  
ナラズ家族制度ノ醇風美俗ヲ維持スル上ニ  
於キマシテ、又離村防止ノ根本的解決ヲス  
ル上ニ於キマシテ、更ニ又農地ト農家トノ  
悠久的結合ヲ確保スル上ニ於キマシテ、更  
ニ勤勞自營ノ農民精神ヲ躬行實踐スル上ニ  
於キマシテ最モ必要ナコトデアルノデアリ  
マス、本年四月一日ヨリ實施ニナリマス滿  
洲開拓農場法モ世襲家産制ニ依リ、日本精  
神ト敢然調和ヲ圖ルコトニナツクノデアリ  
マス、然ルニ是亦個人ヤ團體ノ力デ解決出  
來ル問題デハナイノデアリマス、結局農地  
ノ國家管理法ヲ斷行致シマシテ、國家權力ニ  
依ツテ其ノ目的ヲ達成スル以外ニ、以上申上  
ゲマシタ諸問題ヲ解決スル方法ガナイト信  
ズルモノデアリマス、政府ニ於カレマシテ  
モ十分御調查、御研究中ノヤウデアリ、十  
二月二日、三日兩日農地制度改革同盟會デ  
モ赤坂ノ三會堂ニ會合致シマシテ、自作農

維持創設、家產法ノ制定、農地ノ國家管理法等ニ付テ決議シ、政府ニ陳情シタカノヤウニ聽イテ居ルノデアリマス、要スルニ米穀國家管理ヤ作付ノ制限ガ行ハレ、農地問題ハ是迄ノヤウニ自由ナ經營ハ許サレナイノデアツテ、同時ニ國家目的ノ線ニ沿ヒ、謂高産ニ挺身シテ居ルノデアリマスガ、所謂高度生産ハ不可能デアルト思フノデアリマス、自作農維持創設モ土地交換分合モヤカマシク叫バレテ居ルノデアリマスガ、全面的實現ハ相當困難ヲ伴フト私モ考ヘマス、併シナガラ地主モ時局ヲ十分ニ認識致シテ居ルノデアリマスカラ、斷行スルトスルナラバ現在ガ最モ好イ時機デアルト思フノデアリマス、事非常ニ重大ナル問題デアリマスルガ故ニ、今直チニ政府ニ於キマシテモ之ヲ取上げ、實行ニ移スコトガ頗ル困難ノ事情モアルトハ推察スルノデアリマス、併シ近キ將來結局自然的ニ是等ノ問題ヲ解決シナケレバナラヌヤウナ、大波ガ寄セテ來ルコトヲ想像サレルノデアリマス此ノ際政府ハ十分ニ調査御研究ノ上、事態ニ何時デモ對處シ得ラル、ヤウ御準備ヲ願シテ置キタイト考ヘルノデアリマス、第4點ハ農業團體ノ統合問題、食糧增産ノ根幹トシテ其ノ前提條件デアリマスル統合問題ハ、大臣ノ數回ニ瓦ル言明モアリマシタ、議會ニ提案サレ、議會ヲ通過シテ統合サル衆議院ニ於キマシテモ二回建議案ガ滿場一致通過致シテ居ルノデアリマス、農業團體ノルモノダト考ヘマシテ、相當ノ準備ヲ致シ及ビ農民ハ精神的ニモ物質的ニモ、必ズ今タノデアリマス、然ルニ突如トシテ今議會ニ提出スルコトヲ見合セトナリマシタ、其後ニシカ其ノ成績ト云フモノガ現レナイ、八十數件ノ法案ヲ見マシテモ、此ノ農業團體統合法案ハソレ等ト比較シテ何等遜色ガ無理由ハ何デアルカト云フコトニナリマスト、是ハ世評デアリマスケレドモ、内務省ノ關係デアル町村長會ニ於キマシテ、地方農業各種團體長ヲ町村長ニ一元シタイ、斯ウ云フ内務省ニ陳情シタ、内務省モ其ノ氣ニナッテ、此ノ問題ノ進行ヲ阻止スル結果トナツタト云フヤウナ傾向ニナッテ居ルノデアリマス、勿論農業團體ト致シマシテハ決シテ之ニ反對スルモノデハナイノデアリマス、現在全國一萬二千ノ町村長ノ中デ農業各種團體長ヲ兼務シテ居リマスルモノガ約六、七割ヲ占メテ居ル、誠ニ結構ナコトデアリマス、併シナガラ多數町村長ノ中ニハ、町長トシテ適當デアリマシテモ、農業團體長ヲ兼務スルコトガ不適任デアルト云フ人モアル、相當ノ德望ト相當ノ手腕ト力量ガナケレバ兼務ト云フコトハ出來マセヌ、サウデアリマスカラ農業團體ト致シマシテハ非常ニ結構ナコトデアリマス、ソレニ大贊成デアル、併シナガラ不適任者ヲ以テ兼務セシムルト云フコトハ道理チャナイヂヤナイカ、人物本位デ進シダラドウカ、而モソレヲ法制化シ、原則的ニ町村長ナルガ故ニ、各種農業團體長ヲ兼務セシムルト云フコトハ、誠ニ不合理極マルコトデアルト云フ最モ穩健ナル理由ニ於テ、其ノ法制化、原則化ニ反對ヲ致シテ居リマス、師範學校ノ如キモ今回重大時局ヲ押切シテ官立ニ昇格ヲ致シマシタ、此ノ師範學校ノ昇格ハ何年以後ニシカ其ノ成績ト云フモノガ現レナイ、之ニ反シテ農業團體ノ統合ハ高度國防國家ノ根幹トシテ、直チニ增産トナツテ其ノ效果ガ現レル、而シテ今議會ニ提案サレマシタ

モ重大ノヤウニ考ヘルノデアル、之ニ對シ  
ニ今回今議會ニ於キマシテ、衆議院デハ決  
議案トシテ統合問題ノ促進案ヲ提出サル、  
ラレルカ、之ヲ伺ヒタインデアリマス、殊  
意ト御厚志ハ我々モ能ク承知致シテ居ルノ  
デアリマスガ、此ノ上トモニ重大ナル御決  
ヤニ聞イテ居ルノデアリマス、農林省ノ熱  
心ヲ願ヒタイト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリ  
マス、第五ハ保険料ノ改正料率デアリマス、  
此ノ料率ハ從前ニ比シテ少クトモ三割増、  
其ノ多キハ五割ニ達スルモノモアルノデア  
リマス、是ハ誠ニ地方農民ノ實情ヲ解セザ  
ルモ甚ダシキモノデハナイカト思フノデア  
リマス、當時保険組合設立勧誘ノ際ニ於キ  
マシテハ、現在ノ保険料ハ災害防止設備ノ  
完備ト相俟テ、安クナルトモ決シテ高クハ  
ナラナイト、斯ウ云フ當局ノ公言デアリマ  
ス、又今回ノ改定ハ突然デアリ、而モ一割  
ヤ二割ナラマダシモノコトデアル、二倍モ  
三倍モノ増加ハ全ク我々ノ豫想ゼザル所デ  
アリマス、判断ニ苦シム、既設組合存立ハ勿論  
ノコト、今後未設置組合ノ勸誘ハ、殆ド不  
可能ノ状態ニ陥ル所ノ重大ナル問題ニ逢著  
シタト思フノデアリマス、農林省ニ於カレマ  
シテハ大藏省ヨリノ強硬ナル指示モアツテ、  
斯クナツタモノノ如ク我々ハ想像サレルノデ  
アリマス、併シ各種災害防止助成施設ヲ、總テ  
農業保険事業ヲ中心トシテ實施致シタナラ  
バ、斯ルコトヲ强行セズトモ容易ニ實施セ  
ラレルノデハナイカト我々ハ考ヘテ居ルノ  
スル事柄デアリマスケレドモ、大臣ハ只今

御見エニナツテ居リマセヌ、御見エニナリマシタラ大臣ヨリモ以上ノ事柄ニ付テ御答辯下サルナラバ、非常ニ有難キ仕合セニ存ズルノデアリマス、尙最後ニ委員長ニ御願ヲ致シテ置キマス、只今申上ゲマシタ通り、此ノ農業團體ノ統合案ガ今議會ニ提出サレナカツタト云フ其ノ理由ハ今申上ゲマシタ通り内務省ノ關係デアル、謂ハバ内務省ノ横槍ノ爲ニ、農林省方非常ニ熱心ナルニモ拘ラズ、涙ヲ呑ンデ提出ヲ見合セタト云フコトモ一致シタ輿論ニナツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ私ノ質問ハ内務大臣ノ答辯ヲ得ナケレバ解決ガ付カヌノデアリマス、從ヒマシテ甚ダ恐縮ハ存ズルノデアリマスガ、御忙シイ所デハアリマスケレドモ、簡單ニ質問致シタイト思ヒマスカラ、内務大臣ノ御出席ヲ御願ヒスルヤウニ委員長ニ於テ特ニ御取計ヒヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、以上ヲ以チマシテ私ノ質問ヲ終リマス

ス、即チ重要物資等ニ付キマシテ豊富ナル供給ノアリマスル時代ニハ、何等統制ヲ加ヘズトモ自然ニ需要供給ノ關係ガ圓滑ニ支障ナク動イテ居ツタノデアリマスケレドモ、戰時ノ經濟ノ遂行ノ過程ニ入りマスルト、一面生産ガ増強シマシタニシテモ、需要ノ方ガ非常ニ増進シテ參リマス、更ニ又供給部面ニ付キマシテハ、所謂第三國カラ之ヲ輸入シナケレバナラヌ物資モ相當ニアリマスルガ是等ハ色々ノ關係デ輸入等モ困難ニナルト云フ風ナ、内外兩面ノ事由カラ物資ノ偏重ヲ來シ、ソコニ或種ノ統制ヲ加ヘザルヲ得ナケレバナラヌト云フコトニ發足シタ譯デアリマス、是ハ今更申上ガル迄モナイコトデアリマス、サウ云フ點カラ統制ニ著手シタ關係上、從來ノ自由ニ動イテ居リマス機構其ノ儘デハ動キ兼ネマスノデ、茲ニ特殊ノ機構ヲ造ツテ參ッタ、而モ實情ニ即シタ其ノ機構ヲ發展的ニ運營シマスルニハ、矢張リ現在迄普及シテ居リマシタ會社ヲ執リ來ツタノデアリマス、デアリマスルカラ矢張リ當初物資別ニナリ勝チデアリマシテ、御指摘ニナリマシタヤウナ弊モアシタ營ニ付キマシテ、逐次其ノ方針ニ改メテ參ガト考ヘルノデアリマス、併シナガラ爾來戰時經濟統制ノ進ヌ方モ段階々整備シテ參リマシテ、其ノ結果事業ノヤリ方モ上手ニナリ、同時ニ又或物資ト或物資トヲ結合シテ統制シテ宜シトイ云フ段階ニモ入りマシテ、農林省トシマシテハ其ノ所管ノ國策會社運営ニ付キマシテ、逐次其ノ方針ニ改メテ參ガトノデアリマス、即チ例ヲ取リマスト、甘諸、馬鈴薯等ノ會社ノ御話モアリマシタノデアリマスガ、實ハ是ハ澱粉ト云フ觀點カラ、

「一、二、三」ノ會社ニ分レテ居リマシタ、然ルニ昔  
諸等ハ一面重要食糧トシテ、他面重要ナル  
工業原料トシマシテ、其ノ重要性ガアルモ  
ノデアリマスガラ、是ハ打ツテ一丸ニシテ  
運營スルヲ可トシマシテ、實ハ數箇ノ會社  
ヲ一箇ニ直シタ經緯モアリ、ソレカラ又更  
ニ各種罐詰ノ會社ノ如キハ、農產罐詰ト言  
ヒ、或ハ水產罐詰ト言フテ別々ニ發展シタ  
經緯ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、是等ノ如  
キモ今日ノ段階デハ、大體統合シテ運營ス  
ルヲ可トスルト云フ考ヘ方カラ、是モ段々  
統合ノ運ビニシテ參ッタノデアリマス、尙從  
來農林省トシマシテハ、特ニ重要ナリトシ  
テ考ヘテ參リマシテ、政府出資ヲ以チマシ  
テ、特別法ヲ以テ設立致シマシタ日本米穀  
會社ノ如キ、又戰時ノ小麥粉ノ配給ノ運營  
ニ付キマシテ、特ニ重要ナリト考ヘマシテ、  
食糧管理法案ノ制定ニ伴ヒマシテ抜本的ノ  
方針ヲ執リマシタコトハ御承知ノ通リデア  
リマス、斯クノ如ク逐次統制經濟ノ進展ノ  
狀況ニ應ジマシテ整理統合シテ、其ノ運營  
ノ適正ヲ期シテ参りタイ、即チ此ノ大東亞  
戰爭ノ遂行ニ伴ヒマシテ、眞ニ國策ニ適フ  
ヤウナ方向ニ持ツテ參リタイト云フコトデ  
進ンデ居ルノデアリマス、デ此ノ際國策會  
社ノ運營ニ付キマシテ、二御指摘ニナッタ  
點デアリマスガ、第一點ハ役職員ノ俸給  
ノ問題デアリマス、此ノ問題ハ第一ノ著  
問題デアリマスガ、サウ致シマスト、社會  
眼ハ優秀ナル、而モ眞ニ國策的事業ノ  
重要性ヲ認識セラレマシテ之ニ挺身シテ戴  
ク優秀ナル人材ヲ得ルト云フコトガ第一ノ  
問題デアリマスガ、サウ致シマスト、社會  
的ノ地位モ考ヘナケレマシテ之ニ挺身シテ戴  
ク優秀ナル人材ヲ得ルト云フコトガ第一ノ  
問題デアリマスガ、サウ致シマスト、社會  
運營ノ上カラ行キマシテ、又眞ニ公正ナル

オ仕事ヲシテ戴ク上ニモ一面ニ必要カト考ヘルノデアリマス、唯徒ラニ高祿ヲ食ンダヌコトハ是ハ二瓶委員ノ御承知ノ通りデアリマス、且又國策會社ノ運營ハ、矢張リ敷多ノ段階ヲ經テ居リマスル取引ヲ簡明ニシテ居ルト云フ是ハ長所モアル、ソレニ依ツテ經營ノ合理化、即チ生産者ト言ハズ、配給業者ト言ハズ、同時ニ又消費者ト言ハズ、相當ノ経費ノ輕減ガ考ヘラレル、即チ今日デハ戰時經濟ノ進ムニ從ヒマシテ、相當物價ニナツテ參ツテ居ルノデアリマスガ、一面政府ノ公定物價政策ニ即應シマシテ、所謂配給「コスト」等ニ付キマシテハ非常ニ節減サレデ居ル點モアリマス、是等ヲ睨ミ合セヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、同時ニ又第二三御指摘ノ點ハ農林省ノヤリ方ハ各局區々デヤッテ居ルヂヤナイカト云フコトデゴザイマシテ、是等ハ我々熱心ニ斯クノ如キコトノナイヤウニ努メテ居ルノデアリマスルガ、尙及バザル憾ガアルカモ知レマセヌガ、是等ハ篤ト事務ノ刷新ニ留意シタイト思ヒマス、尙昨年迄ハ實ハシテ、綜合行政ノ運營ニ努メテ參ツテ居ルノデアリマス、爾來國策會社ト言ハズ、諸般ノ農林行政ニ付キマシテハ、綜合的ニ運營シ得ルヤウニ體制ヲ整ヘテ居リマス、

ス、ソレカラ第三ア農地問題ニ付テノ御尋ノ  
第一點ハ、交換分合等ハ農地ノ生産性ヲ向  
上スルニ非常ニ必要ナルニ拘ラズ、現在ノ  
程度デハ適切ナル效果ヲ得ラナイ、何等  
カノ法制的措置ヲ必要トスルデハナイカト  
云フ御質問デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キ  
マシテハ、我々トシテハコヽ數年間實ハ一  
ツノ経験ヲ持チ、相當ノ發展ノ順序ガアル  
譯デアリマス、ト申シマスルノハ、從來ノ  
農業恐慌時代ノ生産性ヲ高メルト云フノ  
ガ、今日トハ其ノ動機、目的ガ多少變ッテ  
居リマシタケレドモ、矢張リ農民ノ總力ヲ  
擧ゲテ、生産性ヲ向上シナケレバナラヌ、  
同時ニ又經營ヲ合理化シナケレバナラヌ、勞  
力ノ配分モ調整シナケレバナラヌト云フ觀  
點カラ、既ニ農地ノ交換分合ト云フコトガ  
提倡サレテ參ッタノデアリマス、是ハ併シ町  
村ノ全ク自主的ノ作用ニ俟ツト云フコトデ  
ヤツテ參ッタノデアリマスルガ、支那事變ガ  
始リマスルヤ、此ノ問題ハ直ニ重要問題  
トナツテ採リ上ガラレテ參ッタノデアリマス、  
其ノ關係カラ致シマシテ、當時農林省トシ  
マシテハ、是ハ矢張リ從來ノ農業恐慌時代  
ニ發足シマシタ經濟更生施設ノ一端デハア  
ルケレドモ、之ヲ發展サシテ進メテ參ルト  
云フコトカラ、若干助成金等モ組ミマシテ、  
サウシテ町村ノ農事實行組合ヲ督勵致シマ  
シテ、若干ノ施策ヲ致シタノデアリマス、  
併シナガラ尙十分ノ效果ヲ發揮シナイ點  
ハ、確カニ法制等ノ備ハラナイ點ガアル爲  
カト思ヒマス、併シナガラ後ニ由上ゲマシ  
タ通り、農地制度ノ立法ニ付キマシテハ相  
當慎重ニ考慮シナケレバナラヌ點ガアリマ  
スルノデ、其ノ域ニ達シテ居ラヌ譯デアリマ

是ハモウ御承知ノヤウニ、昭和十二年ニ大體此ノ計畫ヲ樹テ參ツタノデアリマス、即チ昭和十二年以降二十五箇年ヲ一期トスル年デアリマスルカラ、十億圓ノ資金ヲ投注シテ自作農ノ創定並ニ維持ニ資スルト云フコトデアリマス、而シテ年々出シマス資金ハ是ハ實ハ減額等ハゴザイマセヌ、併シナガラ昨今デハ此ノ四千萬圓ノ資金サヘ十分消化シ得ナイト云フ實情ニアルノデアリマス、是ハ一面ニ於テ農地價格ノ昂騰ヲ抑ヘテ居ルト云フコト、一面ニ於テ土地價格ノ實質的ニ値上リヲシテ居ルト云フ點モアラウトリ阻マレテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、是等ハ尙十分ニ考ヘナケレバナラヌカト思ヒマスガ、資金ノ供給ハ潤澤デアリマスケレドモ、土地購入ノ點カラシニ相當矢張思ヒマスガ、資本ノ供給ハ潤澤デアリマスケレドモ、土地購入ノ點カラシニ相當矢張思ヒマス、更ニ之ヲ強化スルコトニ付キマシテハ、今ノ資金制度ノ外ニ何等力ノ立法的措置ヲ講ジテヤルト云フ考ヘ方モ、是ハ二瓶委員ノ御承知ノ通り、農林省デハ事務的ニハ各種ノ案ヲ持ッテ居リマス、是等ハ將來ノ建設的事業ト致シマシテ、考ヘテ參リタイト思ヒマス、ソレカラ第三ノ家產制シテ家產トシテ保護スル所ノ制度デアリマスガ、是等ハ色々御意見ガアラウカト思ヒマス、同時ニ又農林當局ト致シマシテハ、土地問題ニ付テモ各種ノ研究調査ヲ致シテ居リマスガ、家產制度ヲ制定スルコトニキマシテハ、我ガ國ノ土地制度ニ關スル根本問題ニ觸レ、又相續法等ノ問題モゴザイマスノデ、是等ハ篤ト研究シテ、成案ヲ得

セノ如ク農地問題ノ解決ハ、相當ニ高度國防國家體制ノ建設ノ上ニ、即チ食糧増産等ノ問題ニ付キマシテ根本的ナモノデゴザイマスカラ、憤重ニ研究シタイト考ヘルノデアリマス、其ノ次ノ農業團體ノ統制問題デアリマスガ、是ハ今ニ一瓶委員ノ御希望モアリマシタ如ク、適當ノ機會ニ私ノ御答ヘ申上ゲル以外ニ又大臣カラデモ御答ラシテ戴クコトニ致シマスガ、此ノ際私カラモ一通りノ御説明ヲ申上ゲテ置キタイト考ヒマス、農業團體ノ統合ニ付キマシテハ、是ハモウ多年ノ問題デゴザイマシテ、農林省ト致シマシテハ是非共解決致シタイト考ヘテ居タノデアリマス、關係ノ團體方面ニ於キマシテモ段々議ガ熱シテ參リマシテ、此ノ議會ニ出シタイト云フ考テ進シテ參タノデアリマス、然ルニ御承知ノ如ク昨年ノ十二月八日畏クモ宣戰ノ詔勅ガ下サレマシテ、サウシテ此ノ大作戰ニ入ッタ譯デアリマス、ソコデ緒戦作戰ニ伴フ直接事項ノミヲ此ノ際立法スル、其ノ問題ニ集中スルト云フ内閣全體ノ御方針ガ決リマシテ、農業團體法ハ相當ノ重大ナ問題デモアルシ、尙相當ノ年月ヲ要スル建設的ノコトデモアルト云フ點カラ、大臣トシマシテハ御見合セニナツタノデアリマス、所謂世論ノ如キ事情トハ全ク事情ヲ異ニシテ居リマス、ノミナラズ只今二瓶委員ノ御指摘ニナリマシタヤウナコトハ内務、農林ノ間ニハ臺末モサウ云フ忌ハシイト思ハレルヤウナコトハゴザイマセヌ、我々ガ内務省ト折衝シタ過程ニ於キマシテモ左様ナコトハゴザイマセヌ、唯農業團體ヲ統合スルニ付キマシテ、町村行政トノ連絡調和ヲドウ云フ風ニスルカト云フコ

ニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ最後ニ農業保険ノ問題デアリマスガ、是ハ事務的ノコトハ決シテナイコトヲ御了承戴キタイト思ヒマス、此ノ點ハ尙大臣カラ御答ヲ願フコトタイト存ジマス、御承知ノ通り原始産業ニ關スル保険制度ノ中、此ノ農業保険、即チ收穫保險法ト云フ保険ハ實ハムツカシイコトデゴザイマス、私ハ事務官時代ニ此ノ問題ヲ研究ノ爲ニ歐米各國ニ出張ヲ命ゼラレマシテ、此ノ問題ヲ調査ニ參ッタノデアリマスルガ、隨所ニ行ッテ其ノ經營ノ困難ナコトヲ聞イテ參ッタノデアリマス、即チ「フランス」ニ行キマシタ際ニハ或會社ノ重役カラ約二時間ニ亘テ其ノ經營ノ實情ヲ聽イテ參リマシタ、ソレカラ又「ドイツ」ニ参リマシタ時モ同様デアリマシタ、實ニ此ノ收穫保險ト云フモノハムツカシイモノニアリマス、サウ云フ性質ノモノデアリマスカラ、我國ノ農業保險創始ニ當リマシテモ、矢張り色々ノ材料ヲ整備致シマシタモノ所謂的確ナル保険制度ヲ樹立スル爲ニハ、矢張リ缺陷ガアッタモノデアルト云フコトハ是ハ否メナインデアリマス、從ヒマシテ多クハ保険制度ヲ樹立スルト同時ニ、實行ノ過程ニ於テ之ヲ調整シテ參ッテ居ルノガ各國ノ農業保險實施ノ實情デアリマス、同時ニ我が國デモソレニ依ッテ逐次之ヲ調査シテ良いモノニシナケレバナラスト斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、然ルニ我が國ノ農業保險が創始勿ニシテ重大ナル災害ニ遭ツタ譯デアリマス、デアリマスカラ十數年ニ亘る危険率ヲ測定致シマシタ低い保険料

デハ到底經營ノ出來ナイト云フコトハ是亦  
已ムヲ得ナイ實情デアルト思フノデアリマ  
ス、從ヒマシテ此ノ際相當ノ値上ヲ致シマ  
シテモ、結局ニ於テ之ガ安定シタモノニナ  
リマスナラバ、農民ノ福祉ノ増進ガ期待出  
來ル譯ニナリ、本當ノ農業經營ノ安定ガ期  
待出來ルト思フノデアリマス、從ツテ今日若  
干ノ値上リ、是ハ農民トシマシテ相當ノ負  
擔ノ増加ト考ヘルコトハ無理デハアリマセ  
ヌケレドモ、是等ハ他日ニ此ノ制度ノ改善  
ヲ期待シマシテ、之ニ即應シテ參リマシタ  
ナラバ、農業保險モ健全ナル發達ヲスベキ  
モノト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ今日  
幸抱ズルト云フコトガ他日ノ成功ヲ齎ラス  
基礎デアラウト考ヘル譯デアリマス、問題  
ハ此ノ農業保險ノ實施ニ付キマシテモ、政  
府モ相當ノ金ヲ出シテ之ニ重大ナル支持  
ヲ與ヘテ居ルコトハ御承知ノ通リデアリマ  
ス、尙保險料等ニ付キマシテモ政府ノ援助  
ヲ借リタイト云フ要望ガアルノデアリマス  
ガ、是等ハ理窟カラ申上ゲマスルト困難デ  
ハアリマセウケレドモ、農業保險ノ圓滿ナ  
ル發達ト云フコトカラハ、尙色々ナ考へ方  
ガアラウカト思フノデアリマス、從ヒマシ  
テ農林省トシマシテハ財務當局トモ十分折  
衝シテ、此ノ農業保險制度ノ確立ト云フコ  
トニ一層邁進シタイト思フノデアリマス、  
同時ニ此ノ問題ニ關聯シテ一言申上ゲテ置  
キタイト思フノデアリマスガ、今年ノ此ノ豫  
算ノ上ニ於キマシテモ、東北、北海道ノ冷  
害ニ對スル所謂保險竝ニ共濟制度デアリマ  
スガ、是ハ從前何等ノ仕組ガ立テラレテ居  
リマセヌデシタ、即チ北海道、東北等ニ於  
キマシテハ五年ニ一回、若シクハ六年ニ一  
回ト云フ大ナル災害ヲ受ケルノデアリマス、

是等ノ災害ハ非常ニ大キイダケ、何等政府ノ助成ナクシテハヤレナイト云フノガ輿論デアッタ譯デアリマス、今回當該ノ地方ニ於キマシテ共濟金ヲ積立テマシテ、萬一損害ガ大キクテ其ノ積立金ヲ以テ支拂スルコトノ出來ナイ時ハ、六分ノ一ハ政府ガ支辨シ、六分ノ二ニ付テハ利子ノ補給ヲスルト云フ制度ヲ今回立テテ只今提案中デアリマス、是等モ農業保険ノ施設ノ一端トシテ、東北、北海道ノ其ノ方面デ相當寄與シ得ルモノト考ヘテ居ル譯デアリマス、是ハ困難性ノアリマス諸多ノ問題ハアリマスケレドモ、逐次改善シマシテ、農業保険ノ發達貢獻シタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、私ノ御答辯ハ此ノ程度ニ止メテ置キマス

ノ提出法案ノ選擇ニ當リマシテモ、斯ウ云ツ  
タヤウナ團體統制法ト云フヤウナ、斯ウ  
云フ法案ハ、取敢ヘズ次ノ機會ニ讓ラウヂ  
ヤナイカト云フコトニナツタノデアリマス、  
ソコデマア農林省トシテモ此ノ際ハ提案ヲ  
見合シタト云フヤウナ次第デアリマシテ、  
先程御述ベノヤウニ、之ニ對シテ内務省ガ  
ドウトカ、又其ノ外ニ色々各方面ニ反対ガ  
起シタカラ止メタトカ云フヤウナコトハ、  
絶對ニナイノデアリマシテ、政府部内ノ手  
續ノ問題カラ一應中止シタヤウナ次第デア  
リマス

是ハ御尤モデアリマス、理窟トシテハ誠ニ  
傾聽ニ值スルモノデアリマスガ、實際此ノ  
保險組合ト直接接觸致シテ居リマスル我々  
ト致シマシテハ、此ノ料率ノ值上ト云フコ  
トハ非常ニ影響ガアル、今後新タニ組合ヲ作  
ル上ニ於キマシテハ無論ノコト、既設組合  
モ相當動搖シテ居ルト云フヤウナ心配ヲ持ッ  
タモノデスカラ、此ノ點ヲ御願ヒ致シ、旁々  
御尋ネシタ次第デゴザイマス、併シ是ハ農  
林省ト致シマシテモ十分御考慮下サルコト  
ト思ヒマスカラ、私ノ質問ハ是デ打切り  
マス

アルト云フ、此ノ御所見ガ未來永劫確立サレルコトヲ熱望スルモノデアリマス、唯現下農村ニ於キマシテハ人馬ノ應召ノ外ニ、今後ニ於ケル應召人員ノ補給、軍需工場ノ擴張ニ伴ツテ、農村勞働力ノ減耗ガ甚大デアリマス、此ノ甚大ナル勞働力ノ減耗ハ東亞長期戰ノ現狀ニ照シマシテ、農村ヲ離レタル是等ノ勞力ハ、急速ニ其ノ大部分ガ農村ニ歸ルモノトハ考ヘラレナイ、又將來離村スル勞力ノ趨勢ヲ抑制スルト云フコトハ、頗ル困難デアラウト考ヘラル、ノデアリマス、從ツテ折角農林大臣ノ非常ニ確乎タル御理想ノ實現ガ甚ダ困難デハナイカト云フコトヲ憂フル者デアリマス、現ニ只今農林次官ヨリ御述ニナリマシタ自作農創設ノ成績ガ極メテ渉々シクナイ、是ハ前議會ニ於キマシテモ同様ニ御説明ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ自作農創設ガ元來理想デアルモノガ窺ハレルノデアリマス、昨年度確定シマシタ農地開發營團ノ成績ニ付キマシテモ、頗ル其ノ成績ヲ疑フモノデアリマスルガ、是ハ假令五十萬町歩ノ開墾地ヲ造成トデハナイカト云フコトヲ虞ル、ノデアリマス、是等ノ農村確立ノ方策ニ付キマシテ、何カ今日御執リナサイマスル方策以外ニ、特ニ私共ガ安心シ得ルヤウナ方策ヲ御執リ下サイマスル御用意ガオアリデハナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、私ハ御尋ヲ致ス次第デアリマス

ニ於キマシテ、南方作戦ノ自覺マシイ進展ニ依リマシテ、先程御述ニナリマシタヤウナ色々世間ニ、今後ノ此ノ日本農村ヲドウシテ行クカト云フ疑惑ガ多少ゴザイマシタノデ、其ノ點ヲハッキリ申上ゲタノデアリマス、何ト申シマシテモ、今後日本ガ大キク發展シテ參リ、大東亞共榮圈ノ指導者トシテ立ツテ參リマスニハ、農村人口ト云フモノヲ或程度保有シマシテ、立派ナ日本農民ヲ作り上げテ行クト云フコトガ一番大切アルト信ジテ居ルノデアリマス、從ツテソレニ對シテ然ラバ今日ノヤウナ狀態ニ放ツテ置イタゾデハ、必要ハアルガ實行ハ困難デヤナイカト云フ御心配デアリマスガ、是ハ色々ノ方面カラ日本ノ農村ノ人口ノ保有ト云フコヨトヲ考ヘテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、一つノ方面トシテハ、經濟的ニ十分農村トシテモ引合ツテ行クト云フコトヲ、政府トシテハ考慮シテ行カナケレバナラヌ、殊ニ主要食糧デアル生産物ニ付キマシテ、生産費ヲ割ルヤウナ價格ニシテ置イタノデハ、無論是ハ農村トシテノ經營方困難ニナツテ來ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ十分ニ考慮シテ行カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマシテ、先般モ米ニ付キマシテハ、相當國庫トシテハ多額ノ負擔ニナリマシタガ、數億ノ獎勵金ヲ出スコトニシタノデアリマス、又ソレ以外ニモ價格政策或ハ其ノ他ノ政策ノ上ニ農村經濟ト云フモノヲ十分ニ盛リ立テテ行クト云フ考慮ヲ加ヘテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ今度ハ農村ノ勞力ノ問題デアリマスガ、農村勞力モドシ～重工業、其ノ他ノ方面ニ流レテ行ツテシマシテハ、農村トシテモ農業經營上非常ニ困リマスカラ、其

ノ點ハ或程度防止の施設ヲ致シタイト考  
ヘマシテ、先般農業生産統制令ト云フモノ  
ヲ總動員法ニ基イテ出シタノデアリマス、  
是ハ農業ノ基本的生産ヲ上ダテ行クト云フ  
上ニ於テ必要ナ人口ハ、必ズ農村ニ保有セ  
シメル、從ツテ農民トシテモ自由ニ外ヘハ  
轉業ハ出來ナイ、農會長ノ承諾ナクシ  
テハ他ノ職ニ就ク譯ニ行カナイト云フヤウ  
ナ色々ノ制度ヲ作リマスト同時ニ、厚生省  
方面ニ於テ重工業其ノ他ノ方面ニ對スル徵  
用令、其ノ他ノ法令ノ運用ニ當リマシテ  
モ、農村方面カラハサウ云ツタヤウナ人ハ  
採ラナイト云フ兩省ノ打合セモ致シ、各府  
縣ニモサウ云ツタ趣旨ノ通牒モ致シテ、其  
ノ點ハ防止致シ居ルノデアリマス、從ツ  
テ農村保有ノ勞力トシテ是非必要ナモノハ、  
是ハモウ農村カラハ動力サナイト云フ有ラ  
ユル施策ヲ講ジテ參テ居リマス、唯季節的  
ナ勞力ニ付キマシテハ、是ハ或程度ノ移動ハ  
已ムラ得ナイト考ヘマシテ、其ノ程度ノ移  
動ノミニ止メマス爲ニハ、文化ノ施設モ必要デア  
リマスシ、又教育其ノ他色々ノ方面カラ考  
慮シテ參ラナケレバナラヌノデアリマシテ、  
サウ云ツタ點ニ付キマシテモ、今後政府トシ  
テハ此ノ時局ノ進展ニ連レテ農村人口ノ保  
有ト云フコトガ極メテ重大デアルダケニ、  
サウ云ツタ施設ニ付テハ重點的三色々對策ヲ  
講ジテ參リタイト考ヘテ居リマス、現在ノ  
狀態トシマシテハ、サウ云フ氣持デ施策ヲ  
致シテ居リマスガ、尙勿論之ヲ以テ足レリ  
トハ考ヘテ居リマセヌノデ、今後農林省ト  
致シマシテハ、サウ云フ方面ニハ特ニ力ヲ  
入れタイト考ヘテ居リマス

能ク分リマシタガ、自作農創設規定ノ如キモノヲ、此ノ後改正ヲサレマンテ、自作農創設ニ依テ補給サレマス資金ノ回収等ニ付テ、尙寛大ナル條件ヲ以テ創設スルト云フヤウナ御意圖ハオアリデハアリマスマイカト云フ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君)　自作農創定ニ付キマシテハ先程内田委員ノ御述ベニナリマシタ通り、農民ガ當初豫期シテ居リマシタ程ノ成績ハ舉ゲテ居ナイヤウデアリマス、併シ是ニハ色々ノ原因ガアルノデアリマステ、第一農地ガ支那事變後非常ニ高クナッタ、其ノ爲ニナカノヽ自作農創設ガ困難ニナツテ參ツタ趨勢ニアリマス爲ニ、自作農創設ガ之ガ爲ニハ農地ノ價格ニ對シマスル統制令ヲ出シマシテ一應抑ヘハ致シマシタガ、サウ云ツタ趨勢ニアリマス爲ニ、自作農創設ガ非常ニ困難ニナツテ來テ居リマス、又一面ニ於テ資金トノ關係カラ其ノ貸付手續ナリ、或ハ條件等ニ多少自作農ノ創設ヲシマスル者ノ側カラ見マシテ不便ノ點モアリマスノデ、サウ云ツタ支障モ起ツテ居リマス、今後自作農創設ト云フコトニハ農林省モ極力力ヲ盡シテ參リタイト考ヘテ居リマス、現在ニ於テハ農地開發營團其ノ他ノ開墾地ニ對スル自作農創設ヲ獎勵致シテ居リマスガ、是以外ノ既墾地ノ自作農創設ニ付キマシテハ、今後一段ト色々ノ工夫ヲ加ヘテ參リマセヌケレバ是以上進ミ得ナイト考ヘラレマスノデ、サウ云フ方面ニ付テハ十分研究シテ参リタ

○内田重成君　私ハモウ一遍御願ヲシテ置キタイト思ヒマスノハ、只今大臣ノ御言葉ノ中ニ農村ニ農民ガ定住スルコトヲ促進シテ、勸奨スルヤウナ方策ヲ執ルト云フコトガ

アリマシタガ、其ノ通リニ非常ニ希望致ス  
クデアリマス、是ハ獨リ農林省ノ施設ニ止  
ラズ、一例ヲ以テ致シマスレバ、遞信省ノ  
所管ニ屬スル等ノ事柄ニ致シマシテモ、農村  
郵便物ノ發著が非常ニ不便デアルト云フ  
事實ソレカラ又單リ不便バカリデハナイ、  
遞信物ニ對スル出費が非常ニ多イト云フコ  
ト、例ヘバ速達ノ如キモノデモ、農村ニナ  
ノ書簡線ガナイ、從ツテ現時ノ大東亞戰爭  
ニ戰況等ニ付キマシテモ、書簡ハ「ラジオ」  
ウナコトノ一例デアリマス、ソレカラ電燈  
實情ニアルノデアリマス、斯ウ云フ總テノ  
點ニ付キマシテ、農村ハ都市ニ比べテ非常  
ニ惠レテ居ラヌ、文化施設ガ頗ル不十分デ  
アル、此ノ點ハ單リ農林省ダケノ御所管デ  
ナインデアリマス、從ツテ農村ヲ可愛ガリ  
ノ放送ヲ聽クコトガ出來ナイト云フヤウナ  
賣渡シマシタ主要食糧ヲ賣入レマシテ、ソ  
ノ買入レタル米麥ヲ食糧營團ニ賣渡スモノ  
レヲ配給スル、配給スル申シマスノハ、  
消費者ニ賣渡スト云フ處置ニ相成ルノデゴ  
ザイマシテ、十九條ノ「買入」ハ此ノ趣旨ノ買  
入デアリス

○内田重成君 サウスルト此ノ「買入」ト云  
フ文字ハ、政府カラ買入レルト云フ意味ニ  
考ヘテ宜シウゴザイマスカ  
○政府委員(湯河元威君) 一例ヲ申上ダマ  
シタノデゴザイマシテ、中央營團ハソレ以  
外ニ此ノ食糧ノ販賣ヲ致シテ居リマスル者  
カラ買入レルコトハゴザイマセヌ、例ヘバ  
甘薯、馬鈴薯諸ノ如キモノハ政府方直接之ヲ  
買入レテ、中央營團ニ賣渡スコトハゴザイ  
マセズニ、甘薯、馬鈴薯モ中央營團カラ買  
入レル、此ノ以外ノモノニ付キマシテハ地  
方營團カラ買入レル譯デアリマス

○内田重成君 四十七條ノ第二項ニ、「第十  
九條第一項ニ掲タル事業ト同種ノ事業ヲ行  
フ株式會社、商業組合、商業組合聯合會」云  
云ニ對シテ「解散ヲ命ズルコトヲ得前項ノ  
命令ヲ受ケタル法人ハ中央食糧營團成立ノ  
時解散スルモノトシ其ノ權利義務ハ中央食  
糧營團之ヲ承繼スト」トアリマスガ、一例ヲ  
モ食糧ヲ買入レルコトハナオ、食糧ノ買入  
ハ皆政府ガヤルト云フヤウナコトニナツテ  
居ルヤウデスガ、アソコノ文字ガ三條ト十  
五條トノ關係ヲ見マスト、中央食糧營團及  
地方食糧營團ノ事業ノ中ニ買入ノ文字ガ出  
テ居リマスガ、是ハドウ云フコトデスカ  
○政府委員(湯河元威君) 御答ヘ致シマス、  
是ハ四條ノ所ヲ御覽願ヒマスト、政府ハ其  
賣渡シマシタ主要食糧ヲ賣入レマシテ、ソ  
ノ買入レタル米麥ヲ食糧營團ニ賣渡スモノ  
レヲ配給スル、配給スル申シマスノハ、  
消費者ニ賣渡スト云フ處置ニ相成ルノデゴ  
ザイマシテ、十九條ノ「買入」ハ此ノ趣旨ノ買  
入デアリス

時解散スルモノトシ其ノ權利義務ハ中央食  
糧營團之ヲ承繼スト」トアリマスガ、一例ヲ  
以テ致シマスト、米穀配給統制法ノ三十四  
條ノ二項ニアリマス日本米穀株式會社ノ、  
每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額  
ニ付テノ此ノ規定ニ、年百分ノ六ト云フモ  
ノガ抑ヘラレテ居リマスルケレドモ、是等  
ハドウ云フ風ニ繼承スル譯ニナリマスカ  
○政府委員(湯河元威君) 四十七條ノ第三  
項ニゴザイマスル權利義務ト申シマスルノ  
ハ、是等ノ法人ガ矢張リ解散直前ニ於キマ  
シテ持ツテ居リマスル一切ノ權利義務トス  
ウ相成リマスノデ、只今御示シゴザイマ  
シタ日本米穀會社ガマダ配當致シマセヌ前、  
其ノ利益金ヲ持ツテ居リマスレバ、ソレハ其  
ノ儘此ノ中央食糧營團ニ權利トシテ承繼サ  
レルト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併  
シ其ノ場合ニ於キマシテハ無論日本米穀會  
社ノ株式ノ評價額、ソレヲ當然承繼スルコ  
トニナルト存ジマス

○内田重成君 日本米穀會社ノ三十四條ニ  
規定致シマスル株金額ニ對シテ、年百分ノ  
六ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ、政府以外  
ノモノノ所有スル株式ニ對シ年百分ノ六ノ  
割合ヲ超エ云々ト云フ此ノ規定デアリマス  
ルガ、サウスルト日本米穀株式會社ノ株金  
額ノ割合ヲ此ノ規定デ認メルト云フ迄ニハ至  
テ居ナイノデヤナイカト思ハルノデスガ、

○政府委員(湯河元威君) 现在御示シゴザ  
イマス

○佐藤助丸郎君 私ハ昨日資料ヲ少シ御願  
ヒシテ置キマシタノデスガ、本日其ノ一部  
ヲ預戴致シマシタ、殘餘ノ分ハ何時頃預戴  
云フ風ニ承知致シテ居リマス

○内田重成君 私ノ質問ハ是デ宜シウゴザ  
ミナリマシタヤウナ一種ノ期待權以上ノ何  
ト申シマスカ、サウ云フ風ナ法律上ノ一つ  
ノ地位ト云フ風ナモノハ此ノ營團ニハ承繼  
サレナイ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ居リマス

○政府委員(湯河元威君) 來テ居ラナイノデ渡セナイト云フヤウナ意  
味合ノモノデシタラバ、場合ニ依ツテハ  
政府ノ御説明ダケデ宜シイノデス、只今モ  
内田委員カラモチヨツトソレニ關聯シテ、農

地開拓營團ノ問題ニ付テ御話ガアリマシタ  
ガ、願ハクベ成ルベク早ク頂戴シタイト思ツ

テ居リマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 佐藤サンニ申  
上ガマスガ、只今政府ノ方カラハ、食品局

ノ分ダケガマダ出來上ツテ居ラナイサウデ、  
是モ今日中ニハ調べテ御手許ニ廻スヤウニ

致シマスト云フコトデゴザイマスカラ、左  
様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵安藤信昭君 食糧管理法案ノ申中ノ第

四條ニ「政府ノ指定スル者ニ賣渡ス」トアル  
大臣ニチヨット御尋ネシタインデスガ、是ハ

午後ニ讓リマス

○政府委員(湯河元威君) 此ノ政府ノ指定

スル者ト申シマスルト、現在デモサウ云フ  
モノガゴザイマスノデスガ、食糧トシテデ

ナク、例ヘバ麥ヲ工業原料トシテ使ヒマス  
味噌、醤油ノ製造業者、或ハ小麥ヲ……味

ノ素デゴザイマスカ、ア、云フヤウナモ  
ソラ製造致シマス加工業者、製造業者等ニ

賣渡シマス場合ニハ、政府ハ何モ食糧營團  
ニ拂下ゲマゼズニ、ソレ等ノ者ニ賣渡スト

云フコトガ豫定サレテ居リマスルシ、或ハ  
外國ニ食糧ヲ、例ヘバ支那トカ、滿洲トカ  
ニ政府ガ賣リマス場合ニ、營團カラソチラ

ニ賣ラセルト云フコトモ出來マスルガ、或  
シマシテ居リマスノデス

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレデハ午前  
申中ノ質疑ハ此ノ程度ニ致シマシテ、是デ休  
憩ヲ致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會致シ  
マス

午前十一時五十三分休憩

午後一時四十二分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 開會致シマス、  
午前ニ引續キ御質疑ヲ願ヒマス

○男爵坊城俊賢君 農林大臣ガ居ラレル間

ニ伺ヒタインデス、東亞大戰ニ依リマシテ  
日本ノ勢力ノ及ブ範圍内ニ於ケル南方ノ

農業ニ對スル農林省トシテノ御所見ヲ承リ  
タイト思ヒマス、是ハ企畫院、或ハ拓務省

トソレハ御關係ノアルコトダトハ思ヒマ  
スガ、其ノ農業ソレ自體カラ考ヘマスルト、  
大體アチラニ居リマスル人口ト云フモノ

ハ、約八十「パーセント」ハ殆ド農民デアラ  
ウト思フノデアリマス、ソレニ對シマシテ  
ドウ云フ風ナ農林大臣トシテ御所見ヲ御持  
チニナツテ居ルカ、此ノ本日審議シテ居リマ  
ス法案ニ依リマシテ、内地ノ農村ト云フモ  
ノハ是等ノ農業ソレ自體ヲ今ヨリモ縮小ス  
ルトカ、或ハ擴大スルトカ、其ノ間ソコニ  
大キナ方向ガ大體御決リニナツテ居ラレ  
グラウト思ヒマスガ、其ノ點ヲ第一ニ伺ヒ  
マス、第二ニ伺ヒタインハ、矢張リ南方ノ  
漁業ノ問題デアリマスガ、現在日本ニ澤山  
ノ水產會社ガアチラニアルヤウデアリマス  
ガ、アレ等ノ水產會社ト云フモノヲ企業合  
同爲サルノデアリマスカ、ソレトモ其ノ水  
產會社ノ上ニ、先達テ審議ガアリマシタ總  
動員法第十八條ニ依ル勅令ニ依リマシテ、  
統制會社ヲ作ッテ居ル重要產業團體令、  
アア云ツタヤウナ形デ統制會社ヲ御作リニ  
デス、私ノ考ト致シマシテハ北ノ漁業ト云

フモノハ罐詰、或ハ鹽漬デ宜シイノデアリ  
マスガ、南ノ漁業ト云フモノハ矢張リ冷凍  
ト云フコトモ考ヘナクチヤナラヌ、ソレヲ  
レ以外ノ地ニモ出サナケレバナラヌト云フ

關係カラ、南ノ方ニ統制會社ヲ作ラレマシ  
テ、ソコデ色々ノ加工ヲスルト云フヤウナ  
コトガ一つ對應策トシテ考ヘラレルノデア  
リマス、其ノ邊ニ對スル御意見、ソレカラ  
内地ノ水產業ニ付キマシテ、昨年何カ統制  
ヲオヤリニナルヤウナ御話ヲ新聞デ拜見致  
シマシタノデスガ、其ノ企業合同ノ方式等  
ガ御分リデアリマシタナラバ御示ヲ願ヒタ  
イト思ヒマス、ソレカラ此ノ法案ノ第十三條  
ノ諸調查ニ於ケル命令事項ヲ手許ニ戴イテ  
居リマスガ、其ノ中ニ命令事項デ調査方法  
ニ所要ノ改善ヲスルト云フコトガ書イテア  
リマシタノデスガ、其ノ點ハドウ云  
ト思ヒマス、ソレカラ最後ハ第十四條ノ關  
係デアリマスガ、營團ノ問題デアリマス、  
大體拜見致シマスト、營團ト云フモノヲ中  
央食糧營團ト地方食糧營團ト云フ風ニ、二  
色ニ御作リニナルヤウデアリマスガ、中央  
食糧營團ノ中ニ含マレテ居ル日本米穀會社  
トカ、或ハ製粉會社トカ、或ハ各種ノ工業  
組合、商業組合聯合會ト云ツタヤウナモノヲ  
中央ニ置カレテ、ソレカラ地方ニハソレ等  
ノ若シ支社ガアレバソレヲ置キ、又支社ガ  
ナケレバ後ハ大體商業組合ノ連中ニ依ッテ  
組織サセルト云フ御話デアリマスガ、ドウモ  
トカドウカト云フ所ニ、私ハ疑問ヲ持テ居  
ル、大體考ヘマシテモ食糧中央營團ノ申デ、

既ニ製粉會社、或ハ日本米穀會社トカ、或ハ  
全米商聯デスカ、サウ云ツタヤウナモノガ、  
第一ニ色々ナ争ヒガ起ルノデハイカト云

フコトヲ、非常ニ懸念致シテ居ルノデアリ  
マス、特ニ中央食糧營團ニ内地米ヲ扱ハセ  
スト云フ御話デアリマス、内地米ヲ扱ハセ  
ス場合ニハ、米ニ對シテハ非常ニ弱イ所ノ  
コトヲ考ヘテ見マスト、大體中小商工業者  
組織ニナリマシテ、ドウシテモ製粉業者ア  
タリニ押サレテ行クト云フ關係ヲ心配スル  
ノデアリマス、ソレデ大體配給部面ト云フ  
コトヲ考ヘテ見マスト、大體中小商工業者  
ガ主體ニナツテ居ル筈ノモノデアリマスガ、  
ソコニ製粉事業ノヤウナ大資本ガ入りリマシ  
テ、ソレ等トノ關係ガ非常ニムツカシイデ  
ヤナイカ、今資本的ニ見マシテモ又事業ノ  
關係カラ見マシテモ、實際ニ是ガウマク運  
用出來ルカドウカト云フコトヲ非常ニ懸念  
致シテ居ル次第デアリマス、其ノ點ニ對シ  
通リデゴザイマス

○國務大臣(井野頃義君) 先づ第一點ノ御  
尋ネノ南方ニ對シマスル農業、農民ニ對ス  
ル今後ノ取扱方針ト申シマスカ、政策方針  
ト申シマスカ、之ヲドウスルカト云フ御尋  
ねデアリマスガ、是ハ無論南方ノ農業ノ問  
題ハ、大東亞共榮圈ノ確立後ニ於テ、ドウ  
云フ農業政策ヲ樹立スルカト云フコトノ根  
本問題ニ觸レテ來ルノデアリマス、目下ソ  
レ等ノ根本問題ヲ策定シマス爲ニ、色々ノ  
機關ヲ通ジ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、  
併シ大體ニ於テ先般モ申上ゲマシタ通り、  
主要食糧ノ生産ハ内外地ニ亘ル帝國ヲ中心  
機關ヲ通ジ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、  
リマスルカラ、此ノ方針ニ從ツテ農業政策  
ナリ、移民政策ガ考慮サレテ行クモノト考

ヘルノデアリマス、其ノ他ノ農作物ニ付キ  
マシテハ、大體適地適作主義ヲ採ツテ参リ  
タイト考ヘマスガ、併シ臺灣ノ砂糖ノ如  
キハ是ハドウスルカト云フ問題ニナッテ  
参リマスト、必ズシモ「フィリップ」「ジャ  
ヴァ」ニモット砂糖ガ有望ダカラソツチニ移シ  
テシマフト云フヤウナ譯ニハ参ラナイ色々  
ノ事情ガアリマスノデ、ソレ等ノ農業全般  
メ施策ニ付キマシテハ、能ク軍ノ作戦過程  
ト相關聯致シマシテ、今後研究シテ参リタ  
イト思ツテ居リマス、從ツテ農民ノ如キハ無論  
現在ノ南方農民ハ、モット活躍舞臺ノ擴大ニ連レ  
ハ殖エテ來ルノデアリマシテ、ソレヲ縮小  
スルヤウナ場合ハ生ジナイト考ヘテ居リ  
マス、益、農民ノ今後活躍舞臺ノ擴大ニ連レ  
マシテ、ドウ之ヲ處置シテ行クカト云フ問  
題ガ、一番ムツカシイ問題ニナッテ居ルノダ  
ラウト思ヒマス、第一ノ御尋ノ水產ノ問題  
デアリマスガ、南方ニ於ケル現在水產會社  
トシテハ極メテ小サイ會社ガ散在致シテ居  
ルノデアリマス、ト申シマスノハ、從來英  
米ノ勢力ガ南方諸地域ニハ非常ニ强大ニ  
加ヅテ居リマシタノデ、日本ノ水產業、南方  
ヲ根據トスル水產業ハ餘り發達ヲ見ナイデ  
居ツタノデアリマス、現在ニ於キマシテモ、  
「ボルネオ」水產デアルトカ、或ハ其ノ他ノ  
水產會社ハ極メテ小サナ仕事ヲシテ居ルノ  
デアリマシテ、是等ノ合同ト云フ問題モ目  
下色々考慮サレテ居リマス、從ツテ南方ニド  
ウ云フ水產會社ヲ今後作ルカト云フコトモ、  
是モ作戰過程ニ於キマシテハマダ決メ得ナ  
イノデアリマスガ、先程御意見ノアリマシ  
タ中央ニ出來ル統制會社トノ結ビ付キ、是  
ハ或時機ニ於テハ私共モ是非其ノ必要ヲ感  
ジテ居ルノデアリマス、水產トシテハ矢張

リ中央カラノ或程度勢力ガ加ハルコトノ必  
要ヲ考ヘテ居リマスノデ、中央ニ統制會社  
ガ出來マシタ場合ニソレトノ結ビ付キハ、  
十分考慮シテ参リタイト思ツテ居リマスガ、  
然ラバ内地ニドウ云フ統制機構ガ出來ルカ  
ト云フ第三ハ御尋デアリマスガ、是ハ總動  
員法ニ基キマシテ、先般水產統制令ト云フ  
勅令ヲ出スコトニ致シ、其ノ審議會ノ議ヲ  
經タノデアリマスガ、勅令ハ公布ニナッテ居  
リマセス、數日中ニ公布ニナルト思ヒマス  
ガ、此ノ案ニ依リマスト云フト、大體遠洋  
漁業ニ對スル企業態勢ノ動向デアリマシテ、  
中央ニ日本水產統制株式會社ト云フモノガ  
出來マシテ、是ハ國策會社デアリマスガ、  
其ノ下ニ遠洋漁業ノ各種ノ會社ヲ屬セシメ  
マシテ、其ノ會社ノ中ニ一ツ國策的ナ中心  
トナル遠洋漁業ノ會社ヲ作り、ソレ等ノ遠  
洋漁業會社ノ漁業ノ統制ヲ、上ノ日本水產  
統制株式會社ガ致スト共ニ、下ノ漁業會社  
ガ獲リマシタ魚ノ販賣ト貯藏ヲ全部上デ行  
フト云フ機構ニナッテ居リマス、大體サウ云  
フ機構デ目下勅令案ノ制定ヲ急イデ居ルヤ  
ウナ次第デアリマス、ソレカラ第四、第五  
ノ問題ハ、食糧管理法ノ内容ノ問題デアリ  
マスカラ、是ハ食糧管理局長官カラ御答ヲ  
致スコトニ致シマス。

○政府委員(湯河元威者) 調査方法ニ所要  
ノ改善ヲ加ヘテ行クコトガ、命令ノ要綱ニ  
出テ居ルガト云フコトノ御尋デアツカト  
承ツテ居リマス實ハ米穀統制法ノ施行令、  
施行規則デ決メテ居リマス諸般ノ調査ハ、  
昭和八年頃ノ實情ニ即シマシタ調査ノヤリ  
方デアリマシテ、今度勅令案トナリマス諸  
般ノ是等ノ調査ハ、食糧管理ノ爲ニ必要ナ  
シテ居ルノデアリマス、水產トシテハ矢張  
調査トシテ致サナケレバナラスト斯ウ思ツテ

居リマス、是ハ施行令、施行規則等ヲ書キ  
マス時ニ、十分此ノ改善ヲ加ヘタイト斯ウ  
ガ出来マシタ場合ニソレトノ結ビ付キハ、  
云フ積リデ居リマス、一例ヲ舉ゲテ申シマ  
スレバ、例ヘバ生產費デヨザイマスガ、生  
産費ハ此ノ第三條ノ規定ニ依リマシテ、買  
入價格ノ基礎ニナルノデアリマス、米穀統  
制法ノ規定ノ上ニ於キマシテハ、生產費ハ  
要スルニ、所謂最低價格ノ基準ニナッタノデ  
アリマス、デアリマスカラ、可ナリ謂ハバ  
辛イ生產費項目ガ是ハ調査ノ方式ニ出テ居  
リマス、今度ハ政府ガ一定ノ管理致シマス  
其ノ米穀ノ買入ノ基礎ニナル生產費デアリ  
マスカラ、從來ノ生產費ノヤウナ辛イモノ  
デハ默目デハナイカト思ハレマス、妥當ナ  
ル生產費トシナケレバナラズ、ソコデ例ヘ  
バ資本ノ利子ヲ從來ハ土地資本利子ダケヲ  
見テ居リマスガ、其ノ他ノ投下資本ニ付テ  
ノ利子モ見ル、或ハ以前ニ於テハ農業保險  
ガマダ普及致シテ居リマヌデシタカラ、  
農業保險料ト云フヤウナモノハ見テ居リマ  
セス、ソレヲ將來見テ行カナケレバナラズ  
ト云フ風ナ問題ガアラウカト存ジマス、ソ  
レカラ尙生產費ノ外ニモ、例ヘバ價格ノ計  
算ヲ致シマスル場合ニ、利潤ノ問題ナドモ  
將來考ヘテ行カナケレバハイカヌト云フヤウ  
ナコトヲ考ヘテ居リマス、ソレカラ生產  
高、或ハ現在高移動ノ調査等ハ、將來ハ自  
由取引ニ於キマスル所ノ米穀ノ調査ヲ致シ  
テ居リマシタガ、今度ハ管理機構ニ即應致  
シマシテ調査致シマス方武等ガ違ツテ參リ  
マスノデアリマス、尙生產費、家計費等ノ  
調査ニ付キマシテハ、其ノ客體ノ取り方等  
ハ計畫的指導ノ下ニ動クコトニナルノデア  
リマシテ、御懸念戴イテ居ルヤウナコトハ  
テ居リマス、而モ此ノ中央、地方ノ營團ノ  
配給ハ從來ヨリモ一層政府ノ強烈監督、或  
組ヲ壞サズニ收容シテ行キタイ、斯ウ考ヘ  
テ居リマス、而モ此ノ中央、地方ノ營團ノ  
萬ナカラウト思ツテ居リマス、尙大企業、小企  
業、加工業ニサウ云フ形態モアリマスガ、  
ハ中央カラノ或程度勢力ガ加ハルコトノ點  
マス時ニ、十分此ノ改善ヲ加ヘタイト斯ウ  
ガ出来マシタ場合ニソレトノ結ビ付キハ、  
云フ積リデ居リマス、一例ヲ舉ゲテ申シマ  
スレバ、例ヘバ生產費デヨザイマスガ、生  
産費ハ此ノ第三條ノ規定ニ依リマシテ、買  
入價格ノ基礎ニナルノデアリマス、米穀統  
制法ノ規定ノ上ニ於キマシテハ、生產費ハ  
要スルニ、所謂最低價格ノ基準ニナッタノデ  
アリマス、デアリマスカラ、可ナリ謂ハバ  
辛イ生產費項目ガ是ハ調査ノ方式ニ出テ居  
リマス、今度ハ政府ガ一定ノ管理致シマス  
其ノ米穀ノ買入ノ基礎ニナル生產費デアリ  
マスカラ、從來ノ生產費ノヤウナ辛イモノ  
デハ默目デハナイカト思ハレマス、妥當ナ  
ル生產費トシナケレバナラズ、ソコデ例ヘ  
バ資本ノ利子ヲ從來ハ土地資本利子ダケヲ  
見テ居リマスガ、其ノ他ノ投下資本ニ付テ  
ノ利子モ見ル、或ハ以前ニ於テハ農業保險  
ガマダ普及致シテ居リマヌデシタカラ、  
農業保險料ト云フヤウナモノハ見テ居リマ  
セス、ソレヲ將來見テ行カナケレバナラズ  
ト云フ風ナ問題ガアラウカト存ジマス、ソ  
レカラ尙生產費ノ外ニモ、例ヘバ價格ノ計  
算ヲ致シマスル場合ニ、利潤ノ問題ナドモ  
將來考ヘテ行カナケレバハイカヌト云フヤウ  
ナコトヲ考ヘテ居リマス、ソレカラ生產  
高、或ハ現在高移動ノ調査等ハ、將來ハ自  
由取引ニ於キマスル所ノ米穀ノ調査ヲ致シ  
テ居リマシタガ、今度ハ管理機構ニ即應致  
シマシテ調査致シマス方武等ガ違ツテ參リ  
マスノデアリマス、尙生產費、家計費等ノ  
調査ニ付キマシテハ、其ノ客體ノ取り方等  
ハ計畫的指導ノ下ニ動クコトニナルノデア  
リマシテ、御懸念戴イテ居ルヤウナコトハ  
テ居リマス、而モ此ノ中央、地方ノ營團ノ  
萬ナカラウト思ツテ居リマス、尙大企業、小企  
業、加工業ニサウ云フ形態モアリマスガ、

是ハ現状ニ於キマシテモアルノデアリマス、ソレ等ニ付キマシテハ原料ノ割當、製品ヲコチラニ引取りマス時、又其ノ製品ヲ配給致シマス時ニ當リマシテ、十分サウ云フ點致シマス。

ト致シマシテハ實行ニ付キマシテハサウムツカシイ問題デハナイダラウト思ッテ居リ

マス

○男爵坊城俊賢君 大臣カラモ御鄭重ナ御答ヲ戴キマシテ、又食糧管理局長官カラ第十四條ニ關スル食糧營團ノ御答ヲ得マシテ大變仕合セニ存ジマス、農林省デハスカ云

答ヲ戴キマシテ、又食糧管理局長官カラ第

十四條ニ關スル食糧營團ノ御答ヲ得マシテ

大變仕合セニ存ジマス、農林省デハスカ云

タ今日、米穀會社ト云フモノノ機能自體ガ色々申サレマシテ、議論ノ焦點ニナルノデアリマスケレドモ、米穀會社自體ハ相當ニ今迄仕事ヲシテ來テ居ルノデアリマス、外米、外地米ノ移輸入ニ當リマシテ、麻袋ノ處理問題、倉庫其ノ他ノ經營問題等相當ノ仕事ヲシテ、現ニ經理モ黒字ニナッテ居ルノデアリマシテ、決シテ赤字ノ經營ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、出發ノ沿革ガ大分御議論ガアルノデアリマスガ、サウ云フス中央食糧營團ハ假ニ内地米ヲ扱ヒマセヌデモ相當其ノ扱フ物品ハ澤山アルノデアリマス、資本金モ一億ニ致シマシテモ、ナカナカ是ダケノ金デモ今計畫シテ居ルヤウナ仕事ヲスルノニ、資金關係ノ上ニ於テ足りナイ分ガアルデヤナイカト思フ位デアリマス、デアリマスカラ、御懸念ノヤウナコトハナリハシナイカヲ特ニ心配シテ居ルノデアリマス、特ニ中央食糧營團ニ於テ其ノ感ヲ深クスルモノデゴザイマス、是ハ矢張リウ云フ會社ノヤウニ今度ノ營團ト云フモノニ無用デアッタハ決シテ申シマセヌガ、アリマス、特ニ中央食糧營團ニ於テ其ノ感禍根デアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、政府ニ於レマシテハ中央食糧營團ト

何デモ非常時デ油ガ足リナイト云フコトモ一ツノ原因ニハナリマセウガ、ソレヨリモモ此ノ食糧營團ヲ作リマシテモ、今迄アリマシタ日本米穀會社ト云フモノハ何モ非常ニ用無シテ居ラヌト云フ御考ハアリマスガ、サウ云フ世間デ比較的問題ノ多カッタ會社デアル、サウ云フ會社ノヤウニ今度ノ營團ト云フモノハナリハシナイカヲ特ニ心配シテ居ルノデアリマス、特ニ中央食糧營團ニ於テ其ノ感ヲ深クスルモノデゴザイマス、是ハ矢張リウ云フ會社ノヤウニ今度ノ營團ト云フモノニ無用デアッタハ決シテ申シマセヌガ、アリマス、特ニ中央食糧營團ニ於テ其ノ感禍根デアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、政府ニ於レマシテハ中央食糧營團ト

○國務大臣(井野碩哉君) 誠ニ御尤モナ御法デアッテ、先程次官ガ拔本的ノモノデアリマスケレドモ、此ノ法が根本ニナッテ動ク立ツ人ガ餘程人格的ニシックカリシタ、而モ腕ノ揮ヘル人ヲ置カナクレバナラヌ、人選ガ非常ニムツカシイト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ單ニ米ダケヲ取扱ツテ居ラヌモサウ云フノ揮ヘル人ヲ置カナクレバナラヌ、人選ガ非常ニムツカシイト思ヒマスガ、サウ云フ

○國務大臣(井野碩哉君) 誠ニ御尤モナ御

法デアッテ、先程次官ガ拔本的ノモノデア

ト云フコトヲ仰セニナッタノデアリマスガ、如何ニモ

コトニナルノデアリマス、誠ニ劃期的ノ立

法デアッテ、先程次官ガ拔本的ノモノデア

ト云フコトヲ仰セニナッタノデアリマスガ、如何ニモ

○國務大臣(井野碩哉君) 今度新タニ設ケ

居リマスガ、是モ或ハ倉庫關係トカ、事務

所關係等ニ於テ、其ノ運營ノ如何ニ依ッテ

給ノ問題モ中央政府ニ於テ全面的ニヤッテ

仕事ヲスルノニ、資金關係ノ上ニ於テ足り

ナイ分ガアルデヤナイカト思フ位デアリマス

ス、デアリマスカラ、御懸念ノヤウナコトハ

ハナリハシナイカヲ特ニ心配シテ居ルノデアリマス、特ニ中央食糧營團ニ於テ其ノ感

ヲ深クスルモノデゴザイマス、是ハ矢張リ

ウ云フ會社ノヤウニ今度ノ營團ト云フモノ

ニ無用デアッタハ決シテ申シマセヌガ、アリマス、特ニ中央食糧營團ニ於テ其ノ感

禍根デアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマス

ガ、政府ニ於レマシテハ中央食糧營團ト

○國務大臣(井野碩哉君) 誠ニ御尤モナ御

法デアッテ、先程次官ガ拔本的ノモノデア

ト云フコトヲ仰セニナッタノデアリマスガ、如何ニモ

コトニナルノデアリマス、誠ニ劃期的ノ立

法デアッテ、先程次官ガ拔本的ノモノデア

ト云フコトヲ仰セニナッタノデアリマスガ、如何ニモ

コトニナルノデアリマス、誠ニ劃期

イ、佛印等カラ入ル物ニ付テモ輸入ノ制限ヲスルト云フヤウナ氣構ヘカラシテ、其ノ當時專賣法、或ハ管外移出米管理ノヤウニナリマシタ此ノ管理法ノ中ノ形ト、昔起キマシタ專賣法トカ、或ハ管外移出米ノ管理法トカ、云フモノハ、此ノ法文ノ形カラ申シマスレバ其ノ揆ヲ一ニシテ大同小異ノモノデアルノデアリマス、言ヒ換ヘマスト云フト今回ノ食糧管理制度ヲ以テ、將來若シ米ガ過剩ヲシタヤウナ場合ニ於キマシテモ、前起キタ所ノ專賣或ハ管理法等ノ、サウ云フ心構ヲ以テ之ヲ動カスコトモ出來ルノデアリマス、併シ此ノ御提案ト云フモノハ米ノ不足ノ今日モ、將來過剩シタ場合ニ於キマシテモ、其ノ過剩ノ食糧ト云フモノヲ十分包容致シテ、生産、消費ノ中間ニ立ツテ能ク之ヲ運用シ、共ニ公平ニ満足ヲ與フベキモノト存ズルノデアリマス、デソレニ付キマシテハ將來若シ過剩ノヤウナ時ニ、此ノ法ノ運用ヲシテ以前起キタヤウナ心構ヲ以テ之ヲ動カセルト云フコトニナリマスト、此ノ立法ト云フモノハ恒久的ニアラズシテ、目下ノ急ニ應ズル時ノ立法ニ墮スルト云フヤウナ嫌ヒガアルノデアリマス、ソレデ私ハ願ヒマスルニ、今拓務大臣モ御詫ニナッテ居リ、内外地ノ食糧問題ハ勿論ノコト、又内地ノミノ立法デハアリマスルケレドモ、今申上ゲマシタヤウニ將來米穀ノ事情ガ反對ニ逆轉致シタ場合ニ於キマシテモ、此ノテ居ラレルノデ、此ノ立法ハ法域ノ關係上

シテ、全領土内ノ食糧其ノモノヲ十分ニ、足ラヌ時ニハ確保致シ、又過剩スル時ニハ之ヲ全部包容シテ、其ノ運用ヲ完璧ニサレテ戴キタイト存ズルノデアリマス、勿論斯様ナコトハ御尋ネスル迄モナク、大臣ハ其ノ御心持ト拜察致シマスルガ、其ノ點ヲ先づ以テ御伺ヒ致シタインデアリマス、次ニ左様ナ御心構ト致シマシタ場合ニ於キマシテ、此ノ立派ナ立法ガ出來マシタ場合ニ、朝鮮或ハ臺灣等ノ外地ノ食糧管理ト云フコトニ付テノ立法ハドンナ御方針デアリマスカ、聞ケバ朝鮮ニ於キマシテハ先づ以テ會社デ處理ヲサセル、或ハ又臺灣ニ於キマシテハ先年ノ移出管理ノ法制ガ其ノ體ニナックテ居リマス、ドウモ政府ノ御考、大臣ノ大キナ御抱負ノ上ニ於キマシテ、形ノ上ニ於テドウモ一様ニナラナイヤウナ節ガアリハセヌカト懸念致スノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテドウ云フ風ニ御運ビニナリマスモノデアリマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

ラヌ、斯ウ云フ信念ヲ持ツタノデアリマシテ、而モ假リニ長期ノ後ニ於テ平和ニナリマシテモ、我ガ國トシテハドウシテモ内外地ヲ通ヅル帝國ヲ以テ、主要食糧ノ自給自足ヲ圖ツテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ方針ヲ立テマスニハ、此ノ際米麥等ノ主要食糧ニ付テハ最モハッキリシタ、國家が責任ヲ有ツテノ專賣制度ニ近イモノヲ確立シテ、是ハ米ガ少イ時ニ、餘爾時ニ、何レノ場合ニ於テモ政府トシテ主要食糧ノ責任ヲ明カニスルト云フコトガ必要デアルト考ヘタノデアリマス、從<sup>ツ</sup>テ過去ニ於ケル過剩米時代ノ色々ノ立法モ此ノ際ハ一切之ニ包含セシメマシテ、此ノ食糧管理法一本デ我ガ國トシテハ、内外地ハ勿論、東亞共榮圈内ノ食糧ニ對シテ日本帝國自ラガ或程度ノ面倒ヲ見テアリマス、從<sup>ヒ</sup>マジテ過去ニ於テ過剩米ツヽ、方針ヲ以テ進シ<sup>シ</sup>行クト云フコトニ致シタイト考ヘニシテ此ノ法案ヲ立テ<sup>タ</sup>譯デアリマス、從<sup>ヒ</sup>マジテ過去ニ於テ過剩米時代ニ考ヘラレマシタ專賣制度<sup>デアリマストカ、或ハ外米等ノ内地流入阻止ニ關シマスル立法ノ考ヘ方トハ、マル<sup>デ</sup>私<sup>ハ</sup>違フ氣持<sup>デ</sup>處シテ居ルノデアリマス、アノ時分ハ、價格ト云フモノヲ自由ニシテ置キマシタ時分ニ、内地ノ米價ヲ維持シマス爲ノ諸方策トシテ色々考ヘラレマシタガ、今日ハ生産費ヲ基準<sup>ト</sup>スル價格ハ、經濟事情、其ノ他ノ點モ考慮ニ加ヘマスガ、農村ノ健全ナル發達ヲ圖ル上カラ見マシテモ是非必要デアリマスノデ、政府ハ出來タ米ヤ麥ハ全部買フ、斯ウ云フ態度、而モ其ノ價格ハ適正ナル價格ヲ以テ買フト云フコトヲ明カニ致シマシテ、所謂自剩米處理時代ノ立法トハ精神ニ於テ違フ點</sup>

ヨツ宜ク御了承ヒタイノデアリマス、ソレ  
カラ第一點ノ、然ラバ外地ニ對スル主要食  
糧ノ統制立法ヲドウ持ツテ行クカト云フ御尋  
デアリマスガ、是モ現在ノ立法程度ニ於キ  
マシテ、大體内外地ノ運營宜シキヲ得マス  
レバ、我々ガ今庶幾シテ居リマス目的ノ達  
成ニハ決シテ不自由ヲ感ジテ居ラナイノデ  
アリマス、併シ大東亞共榮圈ノ確立ニ伴ヒ  
マシテ、外地、又ハ第三國方面ニ對スル行  
政機構ヲドウスルカト云フ問題ト相關聯シ  
マシテ、是等ノ立法モ色々考慮シテ行カナ  
ケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、  
今日拓務省自體ガ、今後ドウ發展シテ參リ  
マスカ、是モ非常ナ大キイ問題トシテ殘サ  
レテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ノ點ヲ能  
ク勘案致シマシテ、今後外地ニ對シマスル  
主要食糧ノ統制立法モ考慮シテ參リタイト、  
斯ウ考ヘテ居ル次第アリマス

ナ鞘ガ生ジテ來テ、消費者ノ方デハチヨツト  
合點ガ行カナイヤウナ値ニナルト云フ虞ガ  
アリハセヌカト思フノデアリマス、是ハ實  
際ノ問題デ、私共能ク分リマセヌガ、サウ  
云フコトニ付テノ御注意ナリ、或ハソンナ  
コトハモウ絕對ニナイノダ、消費者ガ合點  
立派ニヤッテ行ケルノデアル、ト云フヤウナ  
コトニ付テ御見透シガアリマスカドウカ、  
ノ行カナイヤウナ數字ニナルコトハナイ、  
是ハ唯私旅行中ニ聞キ及ンダ例ヲ引キマシ  
テ、此ノ際御心持ヲ伺フノデアリマス  
○政府委員(湯川元慶君) 試験ノ取扱ヒマ  
スル主要食糧ノ收納致シマス價格ト、ソレ  
カラソレヲ小賣ニ出シマス時ノ價格ノ開キ  
ハ、生産者、消費者共ニ合點ノ行カナイヤ  
ウナ大キナ開キニナルト云フコトガゴザイ  
マスノハ、ドウモ誠ニ宜シクナイト思フノ  
デアリマス、昨日モ織田委員ノ御質問ニ御  
ハ、公定價格ノ制限ヲ受ケテ居リマスル今日  
ノ情勢ニ於キマシテハ、大體其ノ公定價格  
答へ申上ゲマシタ通り、試験ノ配給ハ、實  
ニ依ツテ配給スルコトニ相成ルカト思フノ  
デアリマス、現在ノ内地ノ主要食糧ノ價格ニ付  
キマシテハ、特ニ米麥等、政府ノ直接管理ヲ  
致シテ居リマスルモノニ付キマシテハ、此ノ  
點ニ付キマシテサウ不當ナル價格付ケガチ  
イノデハナイカト思ツテ居リマス、ト申シ  
マシタガ、併シ政府ノ拂ヒ出シマス賣渡ノ  
價格ハ、之ヲ從來通り据エ置クト云フコト  
知ノヤウニ價格ノ改定ヲ致シマシテ、即チ生產  
費ヲ償フヤウナ價格デ政府デ買ハウト致シ  
致シマシタシ、色々配給機構ノ「マーディン」

ニモ切り込ンデ處置シナケレバナラヌコトガゴザイマシタノデ、一通リ販賣價格ニ付キマシテノ検討ヲ遂ゲタノデゴザイマス、殊ニ消費者ニ對シマスル一々ノ小賣價格ハ、各府縣ニ於キマシテソレドノ實情ニ即座致シマシタ計算ヲ致シマシテ、大分是正シテ來テ居ルノデゴザイマス、實ハ是正致シマシタモノノ一部ハ價格ヲ上ゲタモノモザイマス、是ハドウシテモ玄米ノ價格、ソレカラ取扱ノ實費ヲ見マシテモ、ドウシテモ償ハナイ所ノモノハ、遺憾ナガラ若干引上ゲタ所モゴザイマスガ、一方斯ウ云フ機會ニ價格ノ檢討ヲスルト云フコトカラ致シマシテ、從來商人ノ取ッテ居ル「マージン」ガ大キイ所ハ、價格ノ引下ゲラ致シマシタ、斯ウ云フコトヲ價格行政上ヤツテ參リマシタ、今後ニ於キマシテハ營團ノ經營ニナリマスルト云フト、其ノ徑路ハ一層明ラカニナルト思ヒマス、此ノ價格行政ヲヤツテ參リマス上ニ、色々有益ナル資料ガ得ラレルコト存ジマス、御指摘ノヤウナ、必要ナル掛リト云フモノハ是ハ見テヤラナケレバナラスト思ヒマスガ、誰モ世間ノ常識ガ、是非ナクシテハ妙ダト思ヒマスヤウナ隱レタル層ガソコニアリマスヤウナコトハ、是ハモウ營團ノ公共的ノ性質ニ鑑ミマシテ、是アリマシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、價格ノ點ハ、生産者ノ方ニ於テハ大體五十分基準ノ買入價格ヲ示シテ居リマス、消費者ノ方ニハ四十三圓ト云フ價格ヲ示シテ居リマスガ、此ノ點ハ今ノ所ハ問題ガナイ、此ノ點ニ付テハ、將來ニ於キマシテモ營團

ノ監督上並ニ價格ノ行政上十分ニ注意シテ  
參リタ、斯ウ考ヘテ居リマス  
○子爵安藤信昭君 肥料問題ニ付キマシテ  
大臣ニ御尋ネシタイト思ヒマス、食糧増産  
ガ、肥料トシテハ現在主トシテ化學的ナ肥  
料、即チ金肥ヲ用ヒテ居リマスノデゴザイ  
マスケレドモ、茲ニ六天都市ヲ始メ、全國  
ノ都市ガ最モ頭ヲ使ツテ居リマスノハ人糞  
尿ノ處理ニ付テダト思ヒマス、東京市ニ於  
キマシテモ此ノ處理ニ付テハ間違ツテ居ル  
カ存ジマセヌガ、或ハ東京灣ノ港外ニ捨テ  
ニ行クトカ、或ハ其ノ外大キナ溜ヲ造ツテソ  
レデ一時ヲ凌ゲト云フヤウナ、永久的ノモ  
ノデナク、一時的ノ手段デ處理シテ居ルヤ  
ウニ聞イテ居リマス、ソレガ爲ニ東京灣ニ  
於キマシテハ、木更津方面邊リデ海苔ノ栽培  
ヲ致シテ居ル者達ガ、ソレガ爲ニ死活問題  
ガ起リマシテ、大分陳情ニ來タト云フコトモ  
耳ニシテ居リマス、又東京灣ノ魚類等モ傳  
染病ガ發生スルト、傳染病ニナルカラ買ツ  
テハイカスト云フヤウヲ問題ガアリマス、  
サウ云フ風ナ點ニ於キマシテ、人口ハドン  
ドン殖エテ參リマスノデ、人糞尿ノ處理ト  
云フコトニ付テハ非常ニ今後ムツカシイ問  
題ダト思フノデアリマス、之ヲ今日一ツノ  
小サイ會社、デゴザイマスケレドモ、人糞尿  
ノ處理ヲシテ、硫安トカ、乾糞ト云フヤ  
ウナ物ガ出來テ、即効肥料トシテ僅カナ物  
デアリマスケレドモ、今ヤツテ居リマスヤウ  
デアリマス、私ノ今御尋ネシタインハ人糞  
尿ノ處理ハ肥料ト致シマシテ非常ニ有効ナ  
モノダト思フノデアリマス、サウ云フ風ナ  
點ニ付キマシテ當局モ國策會社、或ハ何カ

サウ云フ風ナ方法デ人糞尿ヲ處理スルト云  
フ風ナ御考ガゴザイマセヌデセウカ、其ノ  
點ヲ伺ヒタ

○國務大臣(井野頼義) 人糞尿ノ處理ノ  
問題ニ付キマシテハ、先般來カラ大分色々  
議論ガゴザイマシテ、斯ウ云ッタモノヲ肥料  
ノ少イ今日是非使ッタラ宜イグラウト云フ  
御議論ガアリマス、事實又サウ云ッタヤウ  
ナコトヲ御計畫ニナッテ居ル、只今御述ベニ  
ナルヤウナ會社モ資本金ハ小サイノデスガ、  
出来テ居リマス、唯此ノ人糞尿ノ處理ニ付  
キマシテハナカヽ色々面倒ナ問題ガ今御  
話ノヤウニ澤山アリマスノデ、當局トシテ  
モ先ヅ之ヲ貯藏スル場所ヲ、溜申シマス  
カ、サウ云フ物ヲ多ク造ッテ、ソコマデ運ンデ  
ソコデ處理スルト云フコトヲ計畫致サレタ  
ノデアリマスガ、何分ニモ自動車ガ無クナッ  
テ参リマシタノト、ソレカラサウ云ッタヤウ  
ナ溜ヲ造リマス資材ガ十分デアリマセヌノ  
デ、其ノ仕事自體モ當局ガ考ヘテ居リマス  
程、思フヤウニ參ラナイノデゴザイマス、  
他ノ點ト睨ミ合セマシテ、折角今研究致シ  
テ居リマスカラ、サウ云フ程度ト御了承ヲ  
戴キタインデアリマス。

○子爵安藤信昭君 此ノ問題ニ付テハ一ツ  
ノ小サナ會社デハ經營ガナカヽムカシ  
イノデゴザイマシテ、東京市トノ關係トカ、  
色々ナ關係ガアリマスノデ、ドウゾ此ノ問  
題ニモ政府當局モ御力添ヘラシテ戴キタ  
シテ居リマスカラ、尙此ノ統制ヘノ  
制ノ關係ハゴザイマセヌ、統制ハ大體九月  
十一日カラ始マッタノデアリマスガ、之ニ關  
係シテ起キタ問題ハ甘諸ノ問題デアリマス、  
甘諸ハモウ其ノ當時方々デ不足スルト云フ  
問題ガアリマシタ、主トシテ關東ノ方面デ  
ハ千葉、栃木、埼玉、關西、中京ノ方デハ  
大體三重縣、岐阜縣、是等ニサウ云フ問題  
コトデアリマスケレドモ、御願ヒヨシテ置

キタイ、ソレハ今度色々ノ商店ガ廢合サレ  
マシタノデ、今日ノ新聞アタリニ酒屋ガ千  
軒ニ付テ一軒ト云フ風ニ色々小賣人ガ減ッ  
テ参リマシタモノデスカラ、其ノ間ニ色々  
不親切ナ點ガ大分アルト云フコトヲ聞イテ  
居リマスノデ、其ノ點ニ付キマシテドウゾ  
當局ノ方デ本當ニ親切ニシテ御援ケヲ願ヒ  
タイト云フコトヲ御願ヒシテ置キマス  
○委員長(伯爵酒井忠正君) 昨日宮田委員  
カラ御質問ガアリシテ、之ニ對シテ農政  
局長カラ御答辯ガアルコトニナッテ居リマ  
シタガ、今日幸ヒ局長ガ見エラレマシタカ  
ラ此ノ際御願ヒ致シマス。

○政府委員(岸良一君) 昨日他ノ方ヘ行ッ  
テ居リマシテ失禮致シマシタ、第一ノ點ハ  
十六年度ノ甘諸、馬鈴薯ノ供出ノ分ノ中デ  
腐敗シタモノガアルガ、其ノ事情ハドウカ、  
又サウデアルトスルト其ノ原因ハドウカ、  
斯ウ云フヤウナ御質問ガアッタト思ヒマス  
ノデ、之ニ付テ今申上ゲマス、此ノ十六年  
度ノ甘諸、馬鈴薯、マア統制ト關係シテ問  
題ニナリマスルノハ甘諸デゴザイマス、馬  
鈴薯ハ大體問題ガアリマシタノハ春、是  
ハ——農村ノ方デ水田ノ裏作トシテ居リマシ  
タ所ガ、丁度雨季ニモ當り、色々ナ關係デ地  
方的ニ採集ノ際腐敗シタイト云フ問題ガヤ  
カマシカッタノデアリマスガ、是ハ直接統  
制ノ關係ハゴザイマセヌ、統制ハ大體九月  
十一日カラ始マッタノデアリマスガ、之ニ關  
係シテ起キタ問題ハ甘諸ノ問題デアリマス、  
甘諸ハモウ其ノ當時方々デ不足スルト云フ  
問題ガアリマシタ、主トシテ關東ノ方面デ  
ハ千葉、栃木、埼玉、關西、中京ノ方デハ  
大體三重縣、岐阜縣、是等ニサウ云フ問題  
コトデアリマスケレドモ、御願ヒヨシテ置

キタイ、ソレハ今度色々ノ商店ガ廢合サレ  
マシタノデ、今日ノ新聞アタリニ酒屋ガ千  
軒ニ付テ一軒ト云フ風ニ各行各業サウ云フ  
問題ガアリマスシ、其ノ時期ガアリマスシ、  
最モ圓滑ニ行クヤウニシタイ、斯ウ云フ風  
ニ考ヘテ居リマス、其ノ次ハ何分ニモ時期  
ガアリマス、時期ガアリマスシ、其ノ時期  
ニ澤山出テ参リマスカラ、生デ食ベルモノ  
ヲ除イテ成ルベク他ノ處置デ處分シテシマ  
フト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、

之ガ爲ニ割挽芋ニ致シマシタリ、切干芋ニ致シマシタリ、或ハ澣粉ニ致シマシタリ、  
或ハ芋粉ニ致シマシタリ、サウ云フコトニ  
付テ助成ノ處置ヲ講ジ、或ハ關係機關トモ  
連絡ヲ執ツテ圓滑ニ行クヤウニシテ居リマ  
ス、又生デ供給スル物ニ付キマシテハ、是  
モ助成ヲ致シテ居リマスガ、貯藏設備ヲ設  
ケサセテ、サウシテ月別ニドウ云フ風ニ出  
テ來ルカト云フコトニ付テノ處置ヲ執ツテ  
居リマス、ナカヽ腐リ易イ物デアリマス  
カラ、取扱ヒニクイノデ、餘程注意ヲ要シ  
マスガ、之ニ依テ今年ハ圓滑ニ行クダラウ  
ト心得テ居リマス、尙斯ウ云フコトガ農民  
心理ニ影響ヲシタコトハナイカ、又之ニ對  
スル對策ヲ考ヘタコトハナイカト云フ御話  
デゴザイマスガ、増産ヲサセテ、ソレガ腐ッタ  
ト云フコトデハ全ク申譯ナシ、又實際影  
響スル所ガ大キイト思ヒマス、是等ノ點ニ  
付キマシテハ、其ノ當時ニ於キマシテモ、  
サウ云フ評判ガ立チマスルト直ニ役所ノ  
者ヲ派シマンシテ、實情ヲ調べテ、能ク統制  
關係ノコトヲ話シマシテ、了解ヲ得ルヤウ  
ニ致シテ居リマシタ、大體了解ガ得ラレタ  
ト思ヒマスルガ、今後ト雖モ十分色々ノ狀  
況ノ推移ニ從ヒマシテ、先程申上ゲマシタ  
ヤウナ運搬等ニ付テハ、或ハ困難性モアル  
ト思ヒマスルガ、又貯藏等ヲシテ準備ヲシ  
ナケレバナラナイト云フヤウナコトニ付テ、  
十分話ラシマシテ、出荷ノ調整ヲサセ、農  
民ニ迷惑ヲ掛ケナイヤウニヤツテ行キタイ  
ト云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス

○政府委員(岸良一君) 大體從來トモ加工用ノ甘諸ニ付テハ、農會ニ斡旋ヲサセテ居タノデ、從ツテ今回ノ統制ニ於テモ集荷ハ譯デアリマス、併シ是ハ地方ニ依ツテハ商人ノ働くテ居ツタ部分モアリマスルノデ、ソレ等ノ働くハ或ベ會社ノ派出先機關トシテ、直接ニヤルヤウニ致シテ居リマス、ソレカラ切替ヘ當時ニハ多少行キ違ヒガアツタカモ知レマセヌガ、大體今ハ整備シテ參りマシタカラ、其ノ點ハ此ノ春カラハ心配ハナイト思ツテ居リマス。

方ハ合點ガ行カヌト云フコトヲ、運送業者自身ガ言ツテ、ア、云フコトヲスレバドウシテモ無駄ガ其ノ間ニ出テ來ル、今迄ノヤウニ自然ニ物ガ消化流通スルヤウニ何故シナガ、大變其ノ間ニ無駄ガ多イト云フコトヲトカ何トカノ間ニハナイノデスカ

○政府委員(岸良一君) 内地ノ小運搬ノ問題デスガ、是ハ或ハ牛馬運送デモ出來ルト云フヤウナ處ハソレニ代ヘルコトハヤッテ居リマス、ドウシテモイカヌト云フモノニ付テハ、交渉シテ油ヲ貰フヤウニ努力致シテ居リマス、今迄ノ話デハ大體春先ニハ丈夫デアルト思ツテ居リマス、ソレカラ昔ハ生産地カラ直グ脇へ流レタガ、今ハサウハ行カナイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、大體原則トシテハ主要生産地ノ側ノ消費地ハ其ノ生産地カラ出た物ヲ取ルヤウニヤッテ居ルノデアリマス、唯大都市其ノ他ヲ目掛ケテ供給スル場合ニ於テ、他ノ方ニ於テ直グ間ニ合ハナイト云フ時ニ、其ノ近クカラモ持ツテ行ツテシマフト云フヤウナコトモアリ得ル譯デアリマスカラ、其ノ點ハアックタカモ知レナイト思ヒマスガ、成ルベク其ノ近クデ供給スルト云フコトハ、是ハ原則トシテ考ヘテ居ル譯デアリマス

○國務大臣(井野碩哉君) 只今宮田委員ノ御話、私モ此ノ間伊勢ニ参リマシタ時ニ、運送業者ガ其ノ話ヲシテ居リマシタガ、ソレハ斯ウ云フ點ガアル、今迄ハ芋ガ生産地需要供給ガ圖ラレテ居ツタノデスガ、今日ノ芋ニ對スル要求ハ、一地方ダケデナク、國

ガ「アルコール」トシテモ欲シ、澱粉トシテモ欲シ、大都會ノ食糧トシテモ欲シ、ト云フヤウナ、色々ナ要求ガ計畫的ニアッテ附近ノ供給ダケデハ間ニ合ハナクナツテ來テ居ルノデアルカラ、從ツテ輸送ノ場合ニ於テモ、附近ノ需要供給ダケテ賄ツテ居ツタ輸送關係トハ違ツテ、或場合ニハ芋ヲ大阪ニ持ツテ行カナケレバナラヌ、東京ニ持ツテ行カナケレバナラヌトカ、其ノ爲ニ輸送計畫ガ多少違ツテモ、ソレハ已ムヲ得ナイ場合ガアルノヂヤナキカト云フコトヲ話シタコトガアル、斯ウ云ツタヤウナ譯テ十二、三億ノ芋ガ取レテモ、六億以上ハ農村デ食ヒ、アトハ國家ノ要請シマズ目的ニ芋ヲ持ツテ行カウト云フコトニナツタノデアリマスカラ、其ノ點ニ於テ、從來ノ自由經濟時代トハ餘程輸送計畫等ニ於テモ違ツテ來ルト云フコトノアルアルコトハ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

今ノ御話ノ點ハ斯ウ云フコトガアラウト思

ヒマス、或一地方ニ出來タモノヲ、其ノ地

方ニ消費シテシマヒマスレバ、ソレハ非常

ニウマク行クノデアリマスガ、サウスルト

縣全體トシテハ非常ナ不足ヲ生ズル、ダカラ

公平ナル分配ヲヤル爲ニハ中央市場ニ持ツ

テ行ツテ、其處カラ公平ナル分配ヲスルト

云フ場合ガアル、元ノ出シタ所ノ村カラ

見ルト、一遍遠イ所ヘ持ツテ行ツテ、又持ツ

テ歸ツテ來ルト云フヤウナ非常ナ不自然ナコ

トガアツテ、其ノ爲ニ非常ナ非難ヲ受ケル

ガ、併シ足ラナイモノヲ、縣下ニ公平ナル

分配ヲショウト云フ場合ニハ、サウ云フコ

トモ已ムヲ得ナイ場合ガ起ツテ來ルノデヤ

ナイカト思フノデス、ダカラ一地方的ニ御

覽ニナツテ、總テノ計畫經濟ヲ御批判戴キ

トモ已ムヲ得ナイ場合ガアラウト思ヒ

マスクヤレバ一番宜イノデアリマス、ダカラ

ソレハサウ云フ風ニ導イテ居リマスケレド

モハ鬼モ角人ノナニ今日、ナカノ我々ガ

幾ラ口ヲ大キクシテ言ツテモ、サウ計畫經濟

ヲウマクキチット國民ノ需要ニ合ハスヤウ

ニ行キ得ナイ色々ノ點ガアルコトヲ遺憾ニ

存ジテ居リマス、遺憾ニ存ジテ居リマスケ

レドモ、サウ云ツタ考ヘ方カラ一時ノ便法

カラ言ツテサウ云ツタ手段モ執タデアラウ

ト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデ、ソレガ宜

マスガ、併シ其ノ點モ運營ニ當ツテハ能ク

者慮シテ、成ルベク地方ノモノハ地方デ捌

クト云フ風ニヤッテ居リマス、併シ偶ニサウ

云ツタコトガアルノデヤナイカト云フ風ニ

考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 サウ仰シヤレバサウダ

ケレドモ、併シナガラ、ダカラコソ「ガソ

リン」ガ幾ラアツタッテ足リナイト云フ狀態

ニナルト思フノデス、其ノ地方ノ消費量ヲ

考ヘテ見テ、其ノ地方ノ消費量ダケハ残シ

テ置イテ、アト餘剩ノ分ダケ他ニ持ツテ行

カウト云フヤウニ計畫スレバ宜イノデス

ガ、ソレヲ全部持ツテ行ツテ、又根コソギ

話ノコトモ十分ニ運營ヲ改善スル餘地ガア

ルト思ヒマス、大臣ガサウ云フ風ニ仰シヤッ

タノデハ取締上甚ダマヅイ御説明ダト思ヒ

マス

○國務大臣(井野頼哉君) 私ハ地方々々ニ

依ツテ御説ノヤウナコトモアリ得ルト考ヘ

マスケレドモ、サウ云フ考ヘ方カラ出發シ

テ、偶ニ地方的ニ今御話ノヤウニ殘シテ

行ツテ、「ガソリン」等モ大イニ節約シ、ウ

マクヤレバ一番宜イノデアリマス、ダカラ

ソレハサウ云フ風ニ導イテ居リマスケレド

モハ鬼モ角人ノナニ今日、ナカノ我々ガ

幾ラ口ヲ大キクシテ言ツテモ、サウ計畫經濟

ヲウマクキチット國民ノ需要ニ合ハスヤウ

ニ行キ得ナイ色々ノ點ガアルコトヲ遺憾ニ

存ジテ居リマス、遺憾ニ存ジテ居リマスケ

レドモ、サウ云ツタ考ヘ方カラ一時ノ便法

カラ言ツテサウ云ツタ手段モ執タデアラウ

ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

良イ制度ヲ採リタイト云フ氣持カラヤラシ

イト言ツテ居ルノデハアリマセヌ、ソレヲ直

シテ段々ト型ニ嵌ツタ統制運用ニ導イテ行

カナケレバナラヌコトハ是ハ御説ノ通リデ

ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

少スマズイコトガアリマシテモ、農林省ト

ラシダ方ガ宜カラウト云フ氣持デヤラシテ

居リマス、從ツテ今御話ノヤウニ地方的ニ

一全國統一シタ方針デ農林省ガ積極的ニ指

圖スルヨリハ、先づ自治的ニ地方々々ニヤ

テ居ルノデゴザイマスケレドモ、ソレヲ一

年期ト端境期ニ於ケル米價ノ變動モ抑止セ

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

イノダト云フ形勢ガ出テ來ル、今勿論神奈

川縣ノ問題ナドモアリマズケレドモ、日本

中ガサウ云フ風ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

配シマスノデ、此ノ點ダケヲ申上げテ置キ

マス

○國務大臣(井野頼哉君) 勿論私共トシテ

モサウ云フ點ハ非常ニ心配シテ居ルノデゴ

ザイマス、唯斯ウ云フ點ダケハ御了承ヲ願

ビタイノデアリマス、農林省ガ色々ナ責任

ヲ以テヤツテ居リマスケレドモ、末端ノ配給

ニ付キマシテ、登録制度ヲヤツテ見タリ、或

ハ隔日配給ト云フヤウナコトヲヤツテ見タ

リ、色々ヤツテ居リマス、是モ試シタ上デ

良イ制度ヲ採リタイト云フ氣持カラヤラシ

イト言ツテ居ルノデハアリマセヌ、ソレヲ直

シテ段々ト型ニ嵌ツタ統制運用ニ導イテ行

カナケレバナラヌコトハ是ハ御説ノ通リデ

ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

少スマズイコトガアリマシテモ、農林省ト

ラシダ方ガ宜カラウト云フ氣持デヤラシテ

居リマス、從ツテ今御話ノヤウニ地方的ニ

一全國統一シタ方針デ農林省ガ積極的ニ指

圖スルヨリハ、先づ自治的ニ地方々々ニヤ

テ居ルノデゴザイマスケレドモ、ソレヲ一

年期ト端境期ニ於ケル米價ノ變動モ抑止セ

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト

トスルモノデアリマスガ、然ルニ今次ノ管

理制度ノ下ニ於テハ米穀ハ總テ國家ノ強力

ナル統制ノ下ニ需要ニ應ジ配給セラル、コ

トトナリマスルノデ、凶作災害時ニ於テモ

ノ米價ノ差額ニ對シ、中小農家ヲ保護セム

マス

ミヲドウ處置スル御積リデアリマスルカ伺

ビタイト思ヒマス、御承知ノ通り鄉倉制度

ハ、東北地方ニ週期的ニ襲來スル冷害凶作

ニ際シテ、其ノ貯蔵米ノ貸出ニ依リ、飯米

缺乏ノ不安ヲ除キ、他面收穫期ト端境期ト



レバナラヌト云フコトニナリマスカラ、農家トシテ見レバ、サウ大キナ變化ヲ生ジナク方ガ現在ノ状態ニ於テハ適當デアルト考ヘテ居リマスノデ、當分續ケタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ木炭ノ問題アリマスガ、是モ御話ノ通り、今日各地方ノ山林事情カラシマシテ、薪炭林ノ伐採問題ハナカナヤカマシイ問題ナノデ、出來ルダケ奥地ノ開發ヲ致シ、地元ノ薪炭林源保存ニ付キマシテ考慮致シテ居ルノデゴザイマスガ、今御話ノ臺灣ノ相思樹ノ問題モ、無論現在モヤッテ居リマス、種々計畫シテヤラシテ居リマスガ、何分ニモ今船ガ無イノデアリマスカラ、折角物ガ出來テモ内地ニ持ツテ來ラレナイ、斯ウ云フ事態ニアリマスノデ、矢張リ内地ニ於ケル木炭ノ需給計畫ハ、内地薪炭林ニ依ツテ當分ハ賄ツテ行クト云フコトニ致サナケレバナラヌ事情ニアリマスノデ、伐採等ニ付キマシテハ十分考慮ヲ加ヘツ、今善處致シテ居リマス

○宮田光雄君 甚ダ迂遠ナ質問デスガ、木材ガ統制ニナルノニ付テ矢張リ郷里ノ者ガ言ツテ來タノニハ、ドウモ澤山木ヲ伐リ出シテ困ル、所謂濫伐ニナリ掛ツテ居ルト云フヤウナコトヲ言ツテ來テ居ルノデスガ、統制スルノ付テハ、其ノ事前ニ於テ其ノ山ヲ濫伐ト云フノカ、木材ヲ伐リ出スト云フコトニ對シテノ其ノ一つノ抑ヘ方ヲ、市内デ言ヘバ、明日カラ一ツ切符制ニナル、其ノ前ニハ祕密ニシテ置イテ、ドウスルト云フヤウナ風ニヤルヤウナ處置ハ取ツテアルノデスカ、モウ取ツテ成ツテ居ルノデスカ、ソコノ事情ガ分ラナイカラ御尋ネスルノデスガ……

○國務大臣(井野碩哉君) 山林ノ伐採ニハ御承知ノ通リ國有林モ民有林モアル譯アリマス、國有林ニ付テハ施業案ガアリマシテ、ソレニ基イテヤッテ居リマスカラ、濫伐ト云フ問題ハ起ラナイ、處ガ民有林ハ無道邊カラ來タ者ノ話ニハ、北海道ノ山元ニハ木炭ガ隨分澤山積シテ其ノ儘ニシテアッテ、編ンダ繩ガ腐レ掛ツテ居ルト云フヤウナモノモアルサウデスガ、アレハ矢張リ輸送力ガ足リナイト云フコトデ其ノ儘ニシテアルノデスカ

○國務大臣(井野碩哉君) 其ノ通リデアリマス、今折角連絡船デ運ンデ居リマスケレドモ、是ハ能力ガアリマス、ソレカラ機帆船ノ問題ガナカク思フヤウニ行キマセスノデ、船ノ關係デ詰ツテ居リマス、併シ大體計畫ヲ立テ、出來ルダケ其ノ方ニモ廻シテ居

○國務大臣(井野碩哉君) 其ノ通リデアリ

リマスガ、一時ハ非常ニ溜マリマシタモノヲ、昨年ノ暮アタリ相當内地ニ持ツテ來マシタ、又相當溜マリマシタヤウデスカラ、又一ツ内地ニ持ツテ來タイト思ヒマス

○宮田光雄君 甚ダ迂遠ナ質問デスガ、木材ガ統制ニナルノニ付テ來タノニハ此ノ需要ニシテ困ル、所謂濫伐ニナリ掛ツテ居ルト云フヤウナコトヲ言ツテ來テ居ルノデスガ、統制スルノ付テハ、其ノ事前ニ於テ其ノ山ヲ濫伐ト云フノカ、木材ヲ伐リ出スト云フコトニ對シテノ其ノ一つノ抑ヘ方ヲ、市内デ言ヘバ、明日カラ一ツ切符制ニナル、其ノ前ニハ祕密ニシテ置イテ、ドウスルト云フヤウナ風ニヤルヤウナ處置ハ取ツテアルノデスカ、モウ取ツテ成ツテ居ルノデスカ、ソコノ事情ガ分ラナイカラ御尋ネスルノデスガ……

○國務大臣(井野碩哉君) サウスルト統制ニナルカラト云フノデ濫伐スルト云フ傾向ハナイノデスカ

○國務大臣(井野碩哉君) サウ云フコトハアリマセヌ

○宮田光雄君 サウデスカ、私ハ其ノ點ドウカト心配シテ……ソンナヤウナ意味ノコトヲ言ツテ來タカラ、其ノ點ニ付テソレヲ抑ヘル、一ツノ防止スル方法ヲ講ジナクテモ宜イノカドウカト云フ意味ノコトヲ心配シタノデスガ、分リマシタ

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレデハ今日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、明日午前十時ヨリ開會致シマス

出席者左ノ如シ

午後三時十三分散會

委員長	伯爵酒井	忠正君	政府委員
公爵一條	實孝君	農林大臣兼拓務大臣	井野 碩哉君
副委員長	男爵大藏	農林省農政局長	三浦 一雄君
委員	公望君	農林省森林局長	岸 良一君
公爵前田	利爲君	農林省資材部長	岡本 直人君
朝鮮總督府財務總監	拓務省殖產局長	食糧管理局長官	湯河 元威君
臺灣總督府總務長官	拓務省拓北局長	拓務次官	植場 鐵三君
臺灣總督府財務局長	拓務省拓南局長	中野 勝次君	井出 正孝君
樺太廳長官	小河 正儀君	中野 勝次君	岡本 直人君
子爵富小路	隆直君	中野 勝次君	中野 勝次君
子爵安藤	信昭君	中野 勝次君	中野 勝次君
子爵土岐	章君	中野 勝次君	中野 勝次君
宇佐美勝夫君	次田 大三郎君	中野 勝次君	中野 勝次君
次田 重成君	精一君	中野 勝次君	中野 勝次君
男爵坊城	俊賢君	中野 勝次君	中野 勝次君
男爵杉溪	由言君	中野 勝次君	中野 勝次君
宮田 光雄君	有賀 光豐君	中野 勝次君	中野 勝次君
千石興太郎君	佐藤助九郎君	中野 勝次君	中野 勝次君
山上 岩二君	佐藤泰次郎君	中野 勝次君	中野 勝次君
佐々木長治君	柴田兵一郎君	中野 勝次君	中野 勝次君

昭和十七年二月七日印刷

昭和十七年二月八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局